

令和元年度

福岡市美術館 活動の記録

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2019

凡例	3
----	---

美術館の主要事業	4
美術館日誌	4
福岡市美術館リニューアル事業	4

展示活動	5
リニューアルオープン記念展	5
特別企画展	8
公募展	13
コレクション展	14
企画展	17
展覧会関連記事	19

教育普及活動	23
どこでも美術館	23
スクールツアー	25
つきなみ講座	26
福岡ミュージアムウィーク2019	27
夏休みこども美術館2019	29
ファミリーDAY	30
第6回いきヨウヨウ講座	31
博物館実習	31
職場体験学習	31
図書企画	32
ボランティア活動	33
出版物	38

連携・協力事業	40
三館連携・協力企画	40
その他の連携企画	40
協力事業	41

調査・研究活動	43
紀要の発行	43
館外調査	43

収集活動	44
美術資料	44
図書・映像資料	46

美術資料の修復・貸出	47
修復	47
貸出	47

美術館リニューアル事業	50
広報事業	50
カフェ・レストラン	51
ミュージアムショップ	52

施設の利用状況	53
展示室	53
ミュージアムホール等	59
令和元年度月別観覧者数	59

名簿	60
----	----

資料	61
----	----

本冊子は福岡市美術館の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの活動の記録である。

本冊子の執筆者は次のとおり。それぞれの肩書きについてはp.60の名簿を参照のこと。
岩永悦子、山口洋三、鬼本佳代子、後藤恒、正路佐知子、崎田明香、渡抜由季、宮田太樹、忠あゆみ、中務美紀、上野真歩、中原千代子（以上、学芸課）、田中孝典（事業管理課）

データの寸法（法量）は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3（イメージサイズ）で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。なお、欠番の8と10は、加藤資料（8）および奥村資料（10）であったが、福岡市博物館の開館に伴い、平成3年3月31日に移管した。

1	郷土作家 ^{（注1）}	A	油彩画等 ^{（注2）}	作品番号
2	日本作家	B	日本画等 ^{（注3）}	
3	海外作家	C	水彩画等 ^{（注4）}	
4	黒田資料	D	素描	
5	東光院仏教美術資料	E	版画	
6	松永コレクション	F	写真	
7	太田コレクション	G	彫刻等 ^{（注5）}	
9	石村コレクション	Ha~Hf	工芸 ^{（注6）}	
11	森山コレクション	I	書跡	
12	三宅コレクション	J	文書	
13	山崎朝雲資料	K	その他	
14	一般古美術資料	L	映像	
15	研究資料			
16	西本コレクション			
17	本多コレクション			
18	クスマコレクション			
19	藤森静雄コレクション			
20	森田コレクション			
21	川村コレクション			
22	栗田コレクション			
23	リーコレクション			
24	小西コレクション			
25	門田コレクション			
26	教育研究資料			

例）1-A-452 → 郷土作家・油彩画・452番

注

1. 九州および山口県、沖縄県出身・在住作家。

2. A（油彩画等）の分類には、大きさの形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわちアクリル絵具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属等の特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵するとと思われる作品もまたAに分類した。

3. B（日本画等）の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。

4. C（水彩等）の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。

5. G（彫刻等）の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。

6. H（工芸）は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

美術館日誌

平成31年	
3月21日(木・祝)	福岡市美術館リニューアルオープン記念展 「これがわたしたちのコレクション+インカ・ショニバレCBE :Flower Power」(令和元年5月26日まで)
令和元年	
5月18日(土)	福岡ミュージアムウィーク2019(5月26日まで)
6月22日(土)	富野由悠季の世界ーガンダム、イデオン、そして今(9月1日まで)
10月 1日(火)	ギュスターヴ・モロー展 サロメと宿命の女たち(11月24日まで)
10月22日(火・祝)	美術資料収集審査検討会
11月 2日(土)	ファミリーDAY(11月4日まで)
11月22日(金)	美術資料収集審査(古美術・近現代)
12月 3日(火)	不思議の国のアリス展(令和2年1月19日まで)
令和2年	
1月28日(火)	大浮世絵展ー歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演(3月22日まで)
2月27日(木)	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館(3月20日まで)
3月31日(火)	第51回福岡市美術展開催(4月3日まで)

福岡市美術館リニューアル事業

1 事業目的

昭和54年11月の開館から約40年が経過する福岡市美術館において、民間活力やノウハウを活用することで、大規模改修及びリニューアル後の維持管理・運営を効果的・効率的に実施するとともに、ソフト・ハードの両面でのさらなる魅力向上を図ることを目的とする(平成31年3月リニューアルオープン)。

2 事業方式

事業方式：PFI(RO)方式
事業類型：サービス購入型、一部独立採算(レストラン等)

3 契約の相手方等

契約の相手方：福岡アートミュージアムパートナーズ株式会社
事業期間：平成28年2月23日から令和16年3月31日まで

4 事業範囲

設計・建設業務	実施設計,改修工事,工事監理など
開館準備業務	リニューアル広報,収蔵品等情報システム開発など
維持管理業務	建築物及び設備保守管理,清掃,警備など
運営業務	利用者対応,広報・集客,レストラン・カフェの運営など(P50～52参照)

リニューアルオープン記念展

これがわたしたちのコレクション+インカ・ショニバレCBE : Flower Power

会期	平成31年3月21日(木・祝)～令和元年5月26日(日)
会場	1階・2階コレクション展示室、ギャラリーA～F、特別展示室
内容	本展は福岡市美術館のリニューアル記念展であり、コレクション展と企画展という美術館の展覧会活動の両輪を同時に打ち出したものである。リニューアルにより生まれ変わった美術館展示室すべてを用いて、当館の今後の活動の指針を示す展示を行った。コレクション展示室およびギャラリーA～Fでは、「これがわたしたちのコレクション」を開催。当館が40年以上にわたって収集してきた約16,000点のコレクションの中から、代表的な作品293点(屋外彫刻10点を含む)を一堂に紹介し、開館以来、最大規模のコレクション展示となった。特別展示室では、英国を拠点に国際的に活躍する美術家インカ・ショニバレCBEの国内初個展「インカ・ショニバレCBE : Flower Power」を開催した。(詳細は後述)。
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、毎日新聞社、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送
共催	NHK福岡放送局
助成	公益財団法人野村財団、公益財団法人福岡文化財団、グレイトブリテン・ササカワ財団、大和日英基金
協力	ブリティッシュ・カウンシル、西澤株式会社
後援	福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、福岡商工会議所、西日本鉄道、九州旅客鉄道
観覧料	一般1,500円(1,300円)、シルバー1,000円(800円)、高大生1,000円(800円)、特別観覧料 一律200円(「これがわたしたちのコレクション」のみ観覧可。当日券のみ) ※中学生以下無料。シルバーは満65歳以上の方。満65歳以上の方はチケット購入時に年齢がわかるものを提示のこと。 ※()内は前売りおよび20名以上の団体の割引料金。 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数	59日間
観覧者数	66,729人
印刷物	【ポスター】B1、B2、B3 【チラシ】A3両面刷り(2種) 【図録】『福岡市美術館ザ・ベスト これがわたしたちのコレクション』B5・384頁 『インカ・ショニバレCBE :Flower Power』B5・128頁

◆これがわたしたちのコレクション ※順番は観覧順路による

【会場】コレクション展示室 近現代美術

- ①コレクションハイライト(近現代美術室A) 9点
- ②モダンアート再訪(近現代美術室A・C) 41点
- ③現代の美術(近現代美術室B) 13点

ダリ、ミロ、シャガール、草間彌生といった当館のスター的作家の作品の展示(①)を導入として、坂本繁二郎や富田溪仙ら明治期の洋画・日本画から、横山操の戦後の大作、ウォーホルのポップアート、バスキアやボルケなどの新しい具象絵画、そしてカブーアや戸谷成雄ら大型の立体にいたるモダンアート100年の歴史をたどる内容の展示を行った(②)。また近年収蔵した作品を中心に、大竹伸朗や手塚愛子といった1990年代以降現在に至るまで第一線で活躍する現代美術作家の作品を紹介(③)。拡張されたコレクション展示室を十全に生かし、当館の近現代美術コレクションの特徴を余すところなく紹介した。

展覧会担当：山口洋三、正路佐知子、渡抜由季、忠あゆみ



【会場】コレクション展示室 古美術

④美術でつなぐ福岡とアジア(企画展示室) 41点

⑤春の名品展(松永記念館室) 27点

⑥東光院のみほとけ(東光院仏教美術室) 17点

④は、黒田家伝来の宝物や仙厓の書画など福岡にゆかりの深い作品と、中国・朝鮮・東南アジアなどアジア各地の美術の名品が一堂に会するもので、多彩な当館古美術資料の全体像を一堂に表現するものであった。⑤では松永コレクションの中から、会期中にあたる春～初夏に相応しい茶道具の名品を紹介した。⑥では本尊薬師如来立像をはじめとする東光院旧蔵の重要文化財の仏像群を、寺院の堂内をイメージした新たな空間へと生まれ変わった展示室にて厳かに展示した。

展覧会担当：後藤恒、宮田太樹



【会場】ギャラリーA～F

⑦九州をめぐる美術

■藤野一友(ギャラリーA) 16点

■吉田博(ギャラリーE) 29点

■九州派(ギャラリーF) 24点

■アジアの仏教美術(ギャラリーB・C) 33点

■九州古陶磁(ギャラリーC・D) 33点

室数の増えたギャラリー(旧市民ギャラリー)では、当館の個性が際立つ「九州」にかかわる5つの特集展示を行った。当館が初の回顧展を開催し、多数の作品を収集して評価の先鞭をつけた幻想の画家「藤野一友」、水彩や油彩により山岳風景を描き、後年は国内外の風景を克明に描写した木版画を多数制作した久留米出身の洋画家「吉田博」、戦後の福岡に登場し、生活者の視点から前衛運動を興そうと試みた「九州派」、日本の仏教美術の源流をたどる「アジアの仏教美術」、気品と清潔感を兼ね備えた柿右衛門様式の色絵磁器に代表される「九州古陶磁」である。

展覧会担当：山口洋三、後藤恒、正路佐知子、渡抜由季、宮田太樹、忠あゆみ



◆インカ・ショニバレCBE :Flower Power

【会場】特別展示室

英国を代表するアーティスト、インカ・ショニバレCBEの日本初個展。ナイジェリアと英国にルーツを持つショニバレは、「アフリカラしさ」というステレオタイプに挑戦すべく「アフリカンプリント」とも呼ばれるオランダ製ワックスプリント綿布を作品に用いる。この布は実はアフリカ発祥ではなく、20世紀初めごろヨーロッパの会社によって製造されたバティックの模倣品が西アフリカに輸出され、現地に根付いたものである。植民地主義時代より続く権力構造に着目するショニバレの作品は、色鮮やかで美しい外観で観者を魅了しながら、文化が生まれる背景や歴史に目を向けさせる。本展では、ショニバレの主要代表作を一堂に会し、彫刻、絵画、写真、映像と多岐にわたる作品世界を紹介したほか、桜をモチーフにした新作《桜を放つ女性》も披露された。

出品点数：20点

印刷物 【図録】B5・128頁

展覧会担当：正路佐知子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
3月21日(木・祝)	インカ・ショニバレ講演会	14:00～15:30	講師：インカ・ショニバレCBE氏 (アーティスト) 聴講者数：170人 会場：ミュージアムホール	ミュージアムホール
①3月22日(金) ②4月28日(日)	九州交響楽団メンバーによる コンサート	14:00～	出演者：九州交響楽団メンバー 参加費：無料※先着順 参加者数：1回目／180人、 2回目／180人	ミュージアムホール
3月23日(土)	つきなみ講座： 「東光院仏教美術室リニューアル記念 徹底解説!東光院のすべて」	14:00～15:45	講師：錦織亮介(福岡市美術館前館長)、 宮田太樹 参加費：無料※先着順 参加者数：127人	ミュージアムホール
3月24日(日)	リリー・フランキートークショー	14:30～16:00	出演者：リリー・フランキー氏 参加費：無料※要申込 参加者数：180人	ミュージアムホール
①3月28日(木) ②3月29日(金)	ワークショップ 「グーグクッションをつくろう!」	13:00～16:00	講師：オーギカナエ氏(アーティスト) 参加費：無料※要申込 対象：未就学児童から小学生の子どもと その保護者	キッズスペース 「森のたね」他
3月31日(日)	映画上映「草間彌生わたし大好き」	①10:00～ ②14:00～	参加費：無料※整理券が必要／ 当日9:00～配布 参加者数：1回目／131人、2回目／96人	ミュージアムホール
4月6日(土)	万能グローブガラバゴスダイナモス による演劇ワークショップ	12:00～17:00	講師：万能グローブガラバゴスダイナモス 参加費：無料※要申込※未就学児不可 参加者数：46人	アートスタジオ
4月10日(水)～ ※毎日	ボランティアによるギャラリーツアー	11:00～／ 14:00～	講師：福岡市美術館ガイドボランティア 参加費：コレクション展観覧券が必要	コレクション展示室
4月14日(日)	神田紅による「松永安左エ門の世界」	14:00～15:20	出演者：神田紅氏 参加費：無料※要申込 参加者数：175人	ミュージアムホール
①4月19日(金) ②4月20日(土) ③4月20日(土) ④4月21日(日)	万能グローブガラバゴスダイナモス 三都市ツアー凱旋公演 「溺れるクジラ」計4公演	①19:30～ ②14:00～ ③18:00～ ④14:00～	出演者：万能グローブガラバゴスダイナモス 参加費：前売券3,000円(当日券3,500円) 25歳以下2,000円(要身分証提示) 参加者数：340人	ミュージアムホール
4月27日(土)	つきなみ講座： 「インカ・ショニバレCBEの活動と 作品について」	15:00～16:00	講師：正路佐知子 参加費：無料※先着順 参加者数：53人	ミュージアムホール
①3月30日(土) ②4月29日(月・祝) ③5月11日(土) ④5月26日(日)	学芸員によるコレクション展示解説 【近現代美術編】	15:00～	講師：福岡市美術館学芸員 参加費：コレクション展観覧券が必要	コレクション展示室 近現代美術
①4月7日(日) ②4月13日(土) ③5月19日(日)	学芸員によるコレクション展示解説 【古美術編】	15:00～	講師：福岡市美術館学芸員 参加費：コレクション展観覧券が必要	コレクション展示室 古美術
5月18日(土)	野村誠コンサート 「ノムラノピアノ×福岡市美術館」	14:00～15:30	出演者：野村誠氏 参加費：無料※先着順 参加者数：141人	ミュージアムホール
5月25日(土)	つきなみ講座： 「誰もが楽しめる美術館を目指して」	15:00～16:00	講師：古賀弥生(九州産業大学教授)、 鬼本佳代子 参加費：無料※先着順 参加者数：28人	レクチャールーム

特別企画展

富野由悠季の世界—ガンダム、イデオン、そして今



ポスターB2



会場風景

会期	令和元年6月22日(土)～9月1日(日)
会場	特別展示室
内容	「機動戦士ガンダム」、「ガンダムGのレコンギスタ」などのガンダムシリーズ、「伝説巨神イデオン」、「聖戦士ダンバイン」といった数多くのオリジナルアニメーションの総監督を務め、国内外のアニメーションに多大な影響を与えてきた富野由悠季(1941年神奈川県生まれ)のこれまでの仕事を回顧、検証する初の展覧会。アニメ制作者として駆け出しのころから現在まで50年以上にわたる富野監督の歩みを振り返る中で、それぞれの時代や人々に与えてきた影響と、そして彼が訴え続けたメッセージとは何かを紐解いた。日本のアニメ界をけん引し全世代にファンを持つ富野監督作品の魅力を余すところなく紹介した。
出品点数	約3,000点
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、九州朝日放送
協力	サンライズ、東北新社、手塚プロダクション、日本アニメーション、オフィス アイ
後援	福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道
助成	公益財団法人福岡文化財団
企画協力	神戸新聞社
観覧料	一般1,400円(1,200円)、高大生700円(500円)、小中生500円(300円) ※()内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金。 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料 ※前売券は平成31年4月20日から販売。会期中は当日料金で販売
開催日数	62日間
観覧者数	34,580人
印刷物	【ポスター】B1、B2、B3、B3西鉄バスタイアップ 【チラシ】先行チラシA4、本チラシA4変型2つ折り 割引券付A4チラシ 【図録】B5・414頁 キネマ旬報社より刊行

展覧会担当：山口洋三

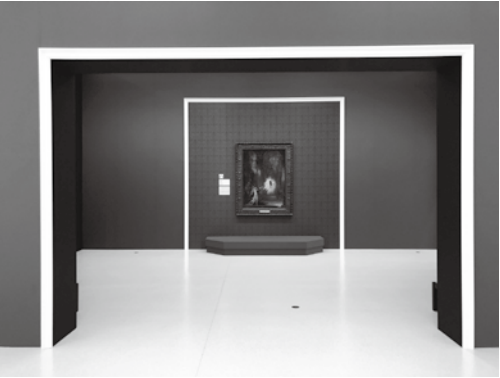
日	イベント名	時間	内容	会場
6月22日(土)	【オープニング記念トーク】富野由悠季とは何者なのか?	14:00～	講師：富野由悠季氏、本展企画チーム6人(小林公氏(兵庫県立美術館学芸員)、岡本弘毅氏(同)、川西由里氏(島根県立石見美術館学芸員)、工藤健志氏(青森県立美術館学芸員)、村上敬氏(静岡県立美術館学芸員)、山口洋三) 参加者：180人	ミュージアムホール
6月29日(土)	【ギャラリートーク】「ほどほどにマニアックなギャラリートーク」	14:00～15:30	講師：山口洋三 聴講者数：約55人	特別展示室
6月30日(日)	【ギャラリートーク】「とてもマニアックなギャラリートーク」	14:00～16:00	講師：山口洋三 聴講者数：約65人	特別展示室
7月6日(土)	【ギャラリートーク】「とてもマニアックなギャラリートーク」	14:00～16:00	講師：山口洋三 聴講者数：約70人	特別展示室
7月7日(日)	【ギャラリートーク】「ほどほどにマニアックなギャラリートーク」	14:00～15:30	講師：山口洋三 聴講者数：約60人	特別展示室
7月20日(土)	【ワークショップ】手描きでアニメーションをつくろう!	13:00～16:00	講師：伊藤隆介氏(映像作家、北海道教育大学教授) 参加者：30人	アートスタジオ
8月3日(土)	【劇場作品上映会】『機動戦士ガンダム(劇場版)』(137分)	14:00～	94人	ミュージアムホール
8月10日(土)	【劇場作品上映会】『伝説巨神イデオン 接触篇／発動篇』(85分／99分)	16:00～	178人	ミュージアムホール
8月24日(土)	劇場版『ガンダムGのレコンギスタ』『行け!コア・ファイター』【国内最速試写会&富野由悠季トークイベント】	13:00～	登壇：富野由悠季氏 山口洋三 参加者：163人	ミュージアムホール
11月16日(土)	つきなみ講座「富野由悠季の世界」展をふりかえる	15:00～16:00	講師：山口洋三 聴講者数：18人	レクチャールーム

©手塚プロダクション・東北新社 ©東北新社 ©サンライズ ©創通・サンライズ ©サンライズ・バンダイビジュアル・バンダイチャンネル ©SUNRISE・BV・WOWOW ©オフィス アイ

ギュスターヴ・モロー展 サロメと宿命の女たち



ポスターB2



会場風景

会期	令和元年10月1日(火)～11月24日(日)
会場	特別展示室
内容	フランス象徴主義を代表する画家、ギュスターヴ・モロー(1826-1898)は、19世紀末のパリで、精神よりも物質を、宗教よりも科学を重んじる気運が高まる中、神話や聖書の世界を描き続けた。古今東西の装飾モチーフを取り入れ、幻想的な作品の数々を生み出したモローの素顔は謎めいており「パリの真ん中に隠れ住む神秘家」とも呼ばれていた。本展では、モローの描く女性像に焦点を当て、代表作《出現》(1876年頃)、《一角獣》(1885年頃)を含むギュスターヴ・モロー美術館の所蔵作品を紹介した。
出品点数	105点
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、テレQ
特別協力	ギュスターヴ・モロー美術館
企画協力	NHKプロモーション
協力	日本航空
後援	在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道
特別協賛	大和ハウス工業
協賛	光村印刷、ふくおかフィナンシャルグループ
観覧料	一般1,500円(1,300円)、高大生800円(600円)、小中生500円(300円) ※()内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金。 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数	48日間
観覧者数	39,178人
印刷物	【ポスター】B1、B2、B3、B3西鉄バスタイアップ 【チラシ】先行チラシA4、本チラシA3二つ折り 【図録】B4変形・200頁

展覧会担当：忠あゆみ

日	イベント名	時間	内容	会場
10月6日(日)	講演会「ギュスターヴ・モローのサロメ」	14:00～15:30	講師：喜多崎 親(成城大学教授) 聴講者数：141人	ミュージアムホール
10月11日(金)	学芸員によるギャラリートーク 怪物のような悪女編	18:00～	講師：忠あゆみ 聴講者数：約90人	特別展示室
10月19日(土)	芸術サロン 「『ギュスターヴ・モロー展サロメと宿命の女たち』を観る前に」 ※「アンスティチュ・フランセ九州」とのタイアップイベント	14:30～16:00	講師：小柳由紀子 (エコール・ド・ルーヴル出身)	アンスティチュ・フランセ九州
10月27日(日)	講演会「モローが愛した女たち～怪物から乙女まで～」	14:00～15:30	講師：中野京子(作家・ドイツ文学者) 聴講者数：156人	ミュージアムホール
11月9日(土)	学芸員によるギャラリートーク 純潔の乙女編	15:00～	講師：忠あゆみ 聴講者数：約75人	特別展示室

不思議の国のアリス展



ポスターB2



会場風景

会期	令和元年12月3日(火)～令和2年1月19日(日)
会場	特別展示室
内容	英国の作家ルイス・キャロルの名作『不思議の国のアリス』の誕生から150年余り。物語は170もの言語に翻訳され、発行部数1億部とも言われる世界的ベストセラーとして多くの人々に愛されている。本展は、美術、映画、舞台、写真など、様々な分野に影響を与え、国内外のアーティストの創作意欲を刺激し続けるアリスの魅力を、日本初公開となる貴重な資料や、現在活躍するアーティスト(アーサー・ラッカム、エリック・カール、ヤン・シュヴァンクマイエル、サルバドール・ダリ、マリー・ローランサン、草間彌生、清川あさみ、山本容子)の作品などで紹介した。また福岡会場関連作品として、《キノコの庭で アリス人形》(制作・角孝政、デザイン・西村em)を展示した。
出品点数	158点
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、RKB毎日放送、東映
後援	日本ルイス・キャロル協会、ブリティッシュ・カウンシル、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、九州旅客鉄道、西日本鉄道、FM FUKUOKA、CROSS FM、LOVE FM
協力	SCRAP、聖徳大学、聖徳大学短期大学部、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン、マクミラン社、武蔵野興業
観覧料	一般1,400円、高大生1,000円、小中生600円 ※※価格は全て税込 ※小学生未満は観覧料無料(但し、保護者同伴) ※()内は前売りおよび20名以上の団体、満65歳以上の割引料金 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数	35日間
観覧者数	26,577人
印刷物	【ポスター】B1、B2、B3 【チラシ】A4 【図録】A4・207頁 東映より刊行
展覧会担当：山口洋三	

大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演



ポスターB2



会場風景

会期	令和2年1月28日(火)～2月26日(水)、3月21日(土)～22日(日)
開館時間	9時30分～17時30分(入館は17時00分まで) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2月27日(木)～3月20日(金・祝)まで臨時休館
会場	福岡市美術館 特別展示室
内容	喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳という、浮世絵の黄金期を支えた、「きっと誰もが知っている」5人の絵師にフォーカスした展覧会。歌麿は美人画、写楽は役者絵、北斎と広重は風景画と花鳥画、国芳は武者絵と戯画というように、それぞれの絵師が得意としたテーマに沿って構成された。国内外の美術館、博物館、個人コレクション等から借用した代表的かつ状態良好な浮世絵版画作品が一堂に会する、国際浮世絵学会の企画立案だからこそ実現した、空前の規模の浮世絵展であった。
出品点数	325点(展示替えあり。常時約160点展示)
主催	国際浮世絵学会、福岡市美術館、読売新聞社、FBS福岡放送、チケットぴあ九州
後援	福岡県、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
協賛	光村印刷
観覧料	一般(18歳以上)1,500円(1,300円)、高校生(18歳未満)800円(600円)、小中生500円(300円) ※()内は前売りおよび20名以上の団体、満65歳以上の割引料金。 ※「一般」には、満18歳以上の高校生、大学生、専修学校生等を含む。 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料。 ※同時開催「国貞三源氏」(18歳未満不可)のみ観覧する場合、300円の観覧料が必要。
開催日数	28日間
観覧者数	22,852人
印刷物	【ポスター】B1、B2、B3 【チラシ】A3二つ折り 【図録】A4変形・348頁
展覧会担当：後藤恒	

関連イベント				
日	イベント名	時間	内容	会場
12月1日(日)	不思議の国のアリス展プレイベント 「アリス展×QuizKnockコラボの内側」1回目	13:00～14:30	講師:QuizKnock 聴講者数:180人	ミュージアムホール
12月1日(日)	不思議の国のアリス展プレイベント 「アリス展×QuizKnockコラボの内側」2回目	15:30～17:00	講師:QuizKnock 聴講者数:180人	ミュージアムホール

関連イベント				
日	イベント名	時間	内容	会場
2月1日(土)	特別講演会①「浮世絵の愉しさ、懐かしさ」	14:00～15:30	講師:小林忠(国際浮世絵学会会長) 聴講者数:141人(事前応募165人)	ミュージアムホール
2月22日(土)	特別講演会②「歌麿の新しさとその魅力」	14:00～15:30	講師:浅野秀剛(国際浮世絵学会理事長) 聴講者数:96人(事前応募159人)	ミュージアムホール
2月29日(土) ※中止	特別講演会③「北斎が広重か」	14:00～15:30	講師:神谷浩(国際浮世絵学会常任理事) (事前応募253人)	ミュージアムホール

※2月29日(土)イベントは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

公募展

第51回(令和元年度)福岡市美術展

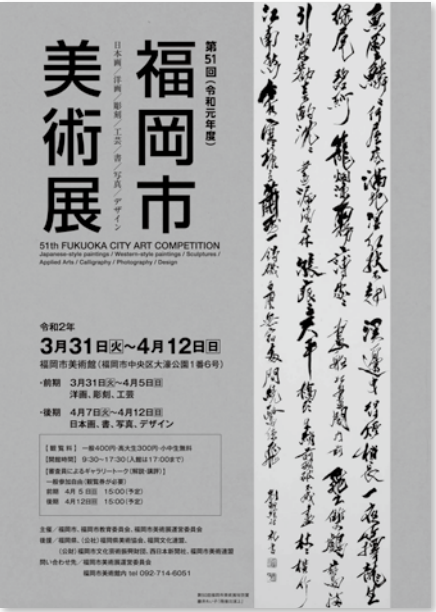
【同時開催】まぼろしの春画 国貞三源氏

会期・会場・開催日数	大浮世絵展に同じ。
内 容	美人画と役者絵という浮世絵の伝統画題において第一線で活躍した歌川国貞は、春画にも才能を発揮した。源氏物語のパロディーである『艶紫娛拾餘帖』、『花鳥余情 吾妻源氏』、『正寫相生源氏』からなる「三源氏」は、その彫りや摺りの技術の高さから多色摺木版画の頂点とも評されている。山川良一氏が蒐集し同年度に福岡市美術館へ寄贈された「正寫相生源氏」初摺本は、永らく所在不明となっていたのが近年見いだされたもので、今まで知られていた「三源氏」の作例と比較しても群を抜いた出来栄えを示す。本展はその受贈を記念して開催したものであり、『正寫相生源氏』に加えて『艶紫娛拾餘帖』、『花鳥余情 吾妻源氏』の初摺本も公開した。
出 品 点 数	9点(25冊)
主 催	福岡市美術館、読売新聞西部本社、FBS福岡放送、チケットぴあ九州
観 覧 料	大浮世絵展の一般観覧料で観覧可。 ※「国貞三源氏」展のみ観覧する場合、一般(18歳以上)300円 ※18歳未満入場不可。
観 覧 者 数	14,885人
印 刷 物	【図録】A4・48頁

展覧会担当：宮田太樹



会場風景



ポスターB2



福岡市美術展特別賞「4次元ポケット」代住 芙祐香

会 期	令和2年3月31日(火)～4月12日(日) 前期(洋画、彫刻、工芸) 3月31日(火)～4月5日(日)6日間 後期(日本画、書、写真、デザイン) 4月7日(火)～4月12日(日)6日間 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にともなう臨時休館のため、4月3日(金)までで終了。
会 場	特別展示室 ギャラリー(全室)
内 容	福岡市美術展運営委員会は、美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的とした公募展。今回は、7部門で747人(914点)の応募があり、613人(626点)が入選。このうち特別賞など入賞は71点であった。

出品及び展示状況

区 分		日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	デザイン	計
出品(応募)人数		31	194	10	58	155	278	21	747
出品(応募)点数		33	235	10	70	159	386	21	914
展 示 点 数	入賞 入選	29	150	10	57	159	206	15	626
	招待 審査員	4	5	3	4	7	5	3	31
	計	33	155	13	61	166	211	18	657

入 賞 者	(1)福岡市美術展特別賞1名(洋画)賞金20万円 (2)福岡市長賞7名(各部門1名)賞金各10万円 (3)福岡市議会議長賞2名(書・デザイン)、福岡市教育委員会賞1名(彫刻)、福岡県美術協会賞1名(日本画)、福岡市美術連盟賞1名(工芸)、福岡文化連盟賞1名(写真)、福岡市文化芸術振興財団賞1名(洋画)、西日本新聞社賞3名(洋画・書・写真)賞金各3万円 (4)福岡県美術協会奨励賞2名(工芸・書)、福岡市美術連盟奨励賞2名(日本画・洋画) (5)奨励賞49名(日本画部門2名・洋画部門11名・彫刻部門2名・工芸部門4名・書部門7名・写真部門20名・デザイン部門3名)
主 催	福岡市、福岡市教育委員会、福岡市美術展運営委員会
後 援	福岡県、公益社団法人福岡県美術連盟、福岡文化財団、公益財団法人福岡市文化振興財団、西日本新聞社、福岡市美術連盟
観 覧 料	一般400円、高大生300円、中学生以下無料
開 催 日 数	4日間
観 覧 者 数	678人
印 刷 物	【ポスター】B2(2種類) 【図録】A4変形 【開催要項】A3二つ折り
関連イベント	表彰式(4月5日(日))及びギャラリートーク(4月5日(日)、4月12日(日))は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

コレクション展

近現代美術室A

■コレクションハイライト①美術史を彩った巨匠たち

令和元年5月28日(火)～令和2年4月19日(日)

当館コレクションを代表するダリ、ミロ、シャガール、デルヴォー、松本竣介、三岸好太郎、レオナール・フジタ(藤田嗣治)、草間彌生の代表作8点を展示。2階コレクション展示室の導入にふさわしいものとした。
展覧会担当：山口



■近代美術と九州(第1～4期)

第1期：令和元年5月28日(火)～8月25日(日)

第2期：令和元年8月27日(火)～11月17日(日)

第3期：令和元年11月19日(火)～令和2年1月26日(日)

第4期：令和2年1月28日(火)～4月19日(日)

九州の地は多数の美術家を輩出してきた。近代美術史上に残る彼らの作品を4期に分けて展示した。

第1期：黒田清輝、岡田三郎助、和田英作、水上泰生ほか11点。

第2期：伊藤研之、児島善三郎、寺田政明、和田三造ほか21点。

第3期：多々羅義雄、吉村忠夫、松永冠山、富田溪仙ほか8点。

第4期：吉田博、古賀春江、田崎広助、上田宇三郎ほか15点。

展覧会担当：渡抜、忠、山口、正路



■福岡市美術館リニューアルオープン1周年記念

新収蔵品 インカ・ショニバレCBE《桜を放つ女性》無料公開

令和2年3月26日(木)～4月19日(日)

2019年春、福岡市美術館のリニューアルオープンを記念し開催した展覧会「インカ・ショニバレCBE：Flower Power」で初公開されたコミッションワーク《桜を放つ女性》は、ショニバレが初めて日本を題材とした作品であり、桜の季節のリニューアルオープンを祝い、制作された。2019年度に収蔵した本作を、当館のリニューアルオープン1周年を記念し、桜の季節に無料公開した。
展覧会担当：正路



近現代美術室B

■藤森静雄と『月映』の作家

令和元年5月30日(木)～8月25日(日)

福岡県久留米市出身の木版画家・藤森静雄(1891-1943)のご遺族からの寄贈資料を中心に、藤森が参加した木版画と詩の同人誌『月映』の収録作品と関連資料約65点を紹介した。学生時代から絵心のあった藤森が上京して恩地孝一郎(1891-1955)、田中恭吉(1892-1915)と出会い、3人で死や孤独といったテーマを共有し制作に打ち込む過程を、『月映』の刊行順に作品を並べることで示した。
展覧会担当：忠



藤森静雄《亡びゆく肉》1915年

■福岡の現代美術、九州派以後

令和元年8月27日(火)～10月27日(日)

1960年代後半以降の福岡の美術は、前衛美術集団「九州派」の影響から脱し、新たな「現代美術」を追求するところからスタートしたといえる。コレクションのなかから福岡の現代美術動向を伝える作品23点を厳選し、1960年代後半から2010年代後半までという半世紀にわたる福岡のアートシーンを振り返った。

展覧会担当：正路



■朝倉文夫・摂・響子

令和2年1月17日(金)～4月19日(日)

日本近代彫刻の草分け的存在として、美術史にその名を刻む朝倉文夫(1883-1964)。彼の長女・朝倉摂(1922-2014)は日本画家、舞台美術家として、そして次女・朝倉響子(1925-2016)は彫刻家として、それぞれ芸術の道に進んだ。本展では、近年ご寄贈いただいた作品を中心に、この稀有な芸術家親子の作品19点を展示した。
展覧会担当：山口



■渡辺千尋

令和2年1月17日(金)～4月19日(日)

デザイナーを経て様々な技法を試みた末にエングレーヴィングに到達した渡辺千尋(1944-2009)が1978年から1996年までに制作した作品を22点展示した。気の遠くなる過程を通して作られた渡辺の作品は、驚くべき細やかさと密度を持つ線で架空の風景を描き、高い技術のみならず魔術的な力まで感じさせる。「肉体と線」「線が紡ぐ風景」「身近なモチーフから」「象の風景」の4章立てでそのスリッパな制作態度と豊かなイメージを紹介した。

展覧会担当：忠



渡辺千尋《卵夢》1978年

近現代美術室C

■コレクションハイライト②1945年以降の現代美術

令和元年5月30日(木)～令和2年4月19日(日)

「九州派」や戦後の世相を反映した絵画をへて、1960年代における前衛美術の百花繚乱、そして現代の美術まで。当館の特徴的なコレクションにより、戦後の美術の多様性に焦点を当てた展示を行った。38点を展示(会期中に3点を展示替え)。
展覧会担当：山口



東光院仏教美術室

■東光院のみほとけ

通期

薬王密寺東光院(福岡市博多区吉塚)から寄贈された、重要文化財を含む仏像を展示。本尊・薬師如来立像、二組の十二神将立像など、重要文化財25軀をはじめとする木彫仏を、4ヶ月に一度展示替えをしながら公開した。
展覧会担当：後藤、宮田



古美術企画展示室

■田中丸コレクション 唐津と高取

令和元年5月28日(火)～7月28日(日)

福岡玉屋の経営者・田中丸善八(1894-1973)によって蒐集された田中丸コレクションは、九州の主要な窯を網羅する近世陶磁で構成されている。うち約半数を占める陶器が当館に寄託されており、その中核をなすのが唐津焼と高取焼である。この両窯の古陶に焦点をあて、当館所蔵品も交えて52点の作品を展示した。
展覧会担当：久保山炎氏(一般財団法人田中丸コレクション学芸員)、後藤



《絵唐津菖蒲文茶碗》(重文) 田中丸コレクション

■夏休み子ども美術館2019「美術のひみつ～昔の美術編」

令和元年7月30日(火)～9月29日(日)

美術作品は何でできてるか? どこから来たか? どういうところが面白い? と3つの章にわけ、絵画の支持体となる紙や絵具の材料である鉱物なども並べ、古美術作品を子どもたち向けに展示した。学芸員たちが知る、とっておきの秘話も紹介した。
展覧会担当：鬼本



《聖書挿絵》13世紀

■田中丸コレクション 九州古陶の美

令和元年7月30日(火)～9月29日(日)

当館に寄託されている田中丸コレクションには、唐津・高取の他、あがの、上野、八代、小代、薩摩、現川といった様々な窯の製品が網羅的に集められている。今回は、「夏休み子ども美術館2019 美術のひみつ～昔の美術編」展の1コーナーにおいて、高取、現川、八代、薩摩など10点を展示した。
展覧会担当：久保山炎氏(一般財団法人田中丸コレクション学芸員) ※このコーナーのみ



《八代象嵌陶枕》田中丸コレクション

■青と白の華やぎ―染付

令和元年12月3日(火)～令和2年2月2日(日)

白い素地の器に呉須で絵柄を描き、透明釉を掛けて焼く。東西に広がった染付の器は、常にこのシンプルな工程の中で、青と白が織りなす様々な美の世界を表出してきた。本展では、当館が所蔵する中国、ベトナムの青花と、古伊万里の染付の代表的作品25点を展示した。

展覧会担当：後藤



《鍋島 染付山水図大皿》

■使う器／見る器

令和元年12月3日(火)～令和2年2月2日(日)

生活の道具として誕生した焼き物の器には、実用品の枠を超え、様々な役割が付加されてきた。臺に副葬される器、儀式に用いる器、飾りとしての器など当館に所蔵される古今東西の陶磁器33点により、器に託された様々な役割に注目した。

展覧会担当：後藤



《柿右衛門様式 色絵花鳥文大蓋物》

■近世絵画名品展

令和2年2月4日(火)～4月12日(日)

特別展「大浮世絵展」の開催にちなんで、所蔵品から近世絵画の名品を紹介。岩佐又兵衛《三十六歌仙》や土佐光起《源氏物語図屏風》など18点を展示した。

展覧会担当：宮田



岩佐又兵衛《三十六歌仙》江戸時代

松永記念館室

■松永耳庵の茶

令和元年5月28日(火)～7月28日(日)

「電力王」や「電力の鬼」などと称された実業家であるとともに、耳庵と号する茶人でもあった松永安左エ門。自他の茶会記や著作などで言及されている松永コレクションの茶道具17点を、伝えられるエピソードとともに展示紹介した。

展覧会担当：後藤



松永耳庵

■茶人の「好み」

令和元年7月30日(火)～9月29日(日)

利休好みや織部好み、遠州好みなど、時代を代表する茶人たちの「好み」に注目して作品を紹介し、茶道具に対する美意識の変遷をたどった。長次郎《黒楽茶碗 銘「次郎坊」》や《黒織部沓茶碗 銘「浜千鳥」》など22点を展示した。

展覧会担当：宮田



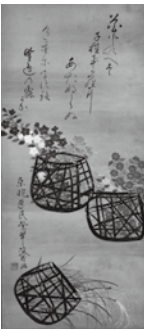
長次郎《黒楽茶碗 銘次郎坊》桃山時代

■秋の名品展

令和元年10月1日(火)～12月1日(日)

秋の風趣に相応しい松永コレクションの名品18点を精選して展示。同室内の茶室ケース「春草廬」では、松永耳庵翁が秋の茶会の定番としていた尾形乾山筆「花籠図」、柿蒂茶碗 銘「白雨」、沢庵宗彭作茶杓を展示し、耳庵翁の茶席を再現した。

展覧会担当：後藤



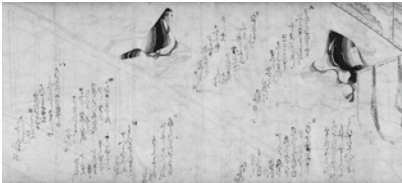
尾形乾山《花籠図》(重文)

■線のチカラ

令和元年12月3日(火)～令和2年2月2日(日)

作者の息づかいを伝えるような筆墨に特色を持つ作品を紹介。《尹 大納言絵詞》や伝・牧 谿《章駄天・猿猴図》など16点を展示した。

展覧会担当：宮田



《尹大納言絵詞》南北朝時代

■茶道具の「次第」

令和2年2月4日(火)～4月12日(日)

古い茶道具には、箱書、添状、仕覆、挽家など種々の品々が附属している。それらはまとめて「次第」と称され、茶道具本体の来歴やその背景などを物語ってくれる。本展では松永コレクションの中から、次第の充実した茶道具7点を選び、次第ごと一挙に陳列した。

展覧会担当：後藤



《唐物臚蹄口茶入》附属 挽家と仕覆

企画展

仙厓―小西コレクション展



ポスターB2



会場風景

会期 令和元年10月1日(火)～12月1日(日)
会場 古美術企画展示室

仙厓義梵(1750～1837)は、日本最初の禅寺である博多・聖福寺の住持を務めた江戸時代の禅僧である。親しみやすい書画を通して禅の教えをわかりやすく伝えたことから「博多の仙厓さん」と呼ばれ人々から慕われた。そのため、福岡・博多では地元の文化人や実業家による優れた仙厓コレクションが数多く形成された。そのいくつかは、縁あって福岡市美術館へご寄贈いただき、今や当館の仙厓コレクションは世界屈指の質と量を誇っている。

去る平成28年度に小西昭一氏により55点に及ぶ仙厓の書画や遺愛の品をご寄贈いただいたことにより、そのコレクションはさらに充実した。特に、友人に宛てた書状や自作の日用品など、仙厓の温かな人柄を伝える作品の数々は、これまでの当館の仙厓コレクションでも手薄だった分野であり、今回のご寄贈はこの不足を補って余りあるものである。

これらの作品は小西氏の尊父で、福岡市内で証券会社を経営されていた友次郎氏が収集されたものである。友次郎氏は戦前の福岡にあった「仙厓三昧会」の活動に参画され、展覧会の開催や画集、絵はがきの発行に協力するなどして、仙厓作品の顕彰にも尽力された。小西コレクションの最大の特徴は、その幅広さにある。画業の初期に描かれた謹直な禅画から、晩年に描かれた愛らしい動物まで、厳しい禅僧であり、なおかつ、人々から慕われた仙厓の人となりを余すことなく伝える内容である。

寄贈を顕彰して開催した本展は、これまでまとまった形で紹介されることがなかった小西コレクションの全容を示す初の機会となった。

出品点数 55点
主催 福岡市美術館
観覧料 コレクション展示観覧料
開催日数 54日
観覧者数 40,259人(会期中のコレクション展観覧者数)
印刷物 【ポスター】B2
【チラシ】A4
【図録】A4変形・80頁

展覧会担当：宮田太樹

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
①10月12日(土) ②11月17日(日) ③11月24日(日)	担当学芸員によるギャラリートーク	各日15:00～16:00	講師：宮田太樹 聴講者数：①50人②41人③35人	古美術企画展示室
10月19日(土)	つきなみ講座特別編 「小西コレクションとその魅力」	15:00～16:30	講師：宮田太樹 聴講者数：65人	ミュージアムホール
10月26日(土)	筑前琵琶演奏会	17:00～18:30	講師：尾方蝶嘉(筑前琵琶奏者) 進行：宮田太樹 聴講者数：155人	ミュージアムホール

梅田哲也 うたの起源



ポスターデザイン(梅田哲也が手刷りしたシルクスクリーン版画をポスターとした。すべて1点物でサイン・エディション入り。サイズも異なる)



展示風景

会期 令和元年11月2日(土)～令和2年1月13日(日・祝)
会場 近現代美術室B
内容 梅田哲也は、その場所にあるものや廃材、日用品で構成される光・音・動きを伴うインスタレーションや、そこに

いる人たちとともに作り上げるパフォーマンスが国際的に高く評価されているアーティスト。音楽・美術・舞台芸術という分野を横断する活動の根底には、それらが地続きであることへの意識と、物理現象とアートと生活の接続可能性についてのたゆまぬ考察と実践がある。梅田と福岡市美術館のかかわりは、改修工事による長期休館を控えた当館で開催したグループ展「歴史する!Doing history!」(平成28年8月2日～31日)から始まった。このとき梅田は37年の歴史を刻み工事によって更新される運命にあった当館の展示室や什器に光を当てた。改修前に当館と対話したアーティストは、リニューアル後の美術館をどう見るのか。美術館での初個展でもある本展において梅田は、当館の建築や設備、さらには組織に介入し、既成のルールとのせめぎあいのなか作品を成立させ、美術館における固定概念を揺るがし、「美術」の再考を促した。

本展ではメイン会場である近現代美術室Bのほか館内の複数の場所に、鑑賞者に注視し、傾聴し、感じ、考え、想像することを求めるインスタレーション7点が設置された。会期中にはハプニング的なパフォーマンスが展示室で行われた。ここにあるものやここで生まれようとしているものは何か、それらはどのような関係にあるのか、ここにはないものやここから失われようとしているものは何か、それはなぜなのか。本展によって導かれた思考と想像は、現在の生活はもとより、美術(館)の歴史や将来にも、想像の及ばないような遠い未来と起源にも、つながっていくはずである。

出品点数 7作品(インスタレーション)
主催 福岡市美術館
助成 芸術文化振興基金、公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人セゾン文化財団
協力 オオタファインアーツ、神戸アートビレッジセンター
観覧料 コレクション展示観覧料
開催日数 56日
観覧者数 32,295人(会期中のコレクション展観覧者数)
印刷物 広報印刷物の代わりに特設サイトを製作。
【図録】A5・96頁【ハンドアウト】A4

展示会担当：正路佐知子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
12月27日(金)	パフォーマンス 「梅田哲也×福岡市美術館 ギャラリートツアー」	11：00～、12：00～ 13：00～、15：00～ 16：00～、17：00～ (ツアー鑑賞時間は約45分)	梅田哲也 ゲストパフォーマー：ハイン・アヴダル、篠崎由紀子、 leo.miyu、掇子びじん、宮田君平 ツアーガイド：国府島美保、熊谷和奈、森山瑠璃子 参加者：90人	福岡市美術館(ロビー、バック ヤード、展示室、館外周辺)

※令和2年1月12日(日)クロージングトークをCalamari Inc.(福岡市内)にて開催。出演者は梅田哲也、鮎屋法水、志賀理恵子、細馬宏通。定員30名。

展覧会関連記事

平成31年4月1日から令和2年3月31日までにに行った展覧会・美術館事業に関連する主要な新聞・雑誌・WEB媒体記事をまとめた。
なお、令和2年2月27日から3月20日までの期間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い臨時休館した。
※カッコ内は執筆者名。表記・肩書さは元記事のままとした。

特別企画展

リニューアルオープン記念展 これがわたしたちのコレクション		
西日本新聞(朝刊)	H31.4.23	再見ザ・ベスト 上／瀬戸内海集 帆船 朝／「絵の鬼」ここにあり／(学芸員 忠あゆみ)
西日本新聞(朝刊)	H31.4.24	再見ザ・ベスト 中／縦糸を引き抜くー五色／隠れたものを眼前に／(学芸員 正路佐知子)
西日本新聞(朝刊)	H31.4.25	再見ザ・ベスト 下／流水梅柳文時絵螺鈿鏡箱／暗示する和歌の情景／(学芸員 後藤恒)
毎日新聞(朝刊)	H31.4.25	バスキア、ウォーホル モダンアートも必見／福岡市美術館 リニューアルオープン記念展
毎日新聞(朝刊)	H31.4.27	「リニューアルオープン記念展」福岡市美術館／細やかなシフや表情じつくりと
朝日新聞(朝刊)	R1.5.8	広がる展示 貴重な一作も／福岡市美リニューアル 美の空間 自由に荘厳に／(安斎耕一)／(田中修二・大分大学教授)
毎日新聞(朝刊)	R1.5.14	福岡市美術館リニューアルオープン記念展を見て／絵具の厚み、筆の疾走感印象に／専門学校生 毛利友誓さん
毎日新聞(朝刊)	R1.5.15	福岡市美術館リニューアルオープン記念展を見て／平和の願い伝わる「桜を放つ女性」／会社員 後藤貞男さん
毎日新聞(朝刊)	R1.5.17	福岡市美術館リニューアルオープン記念展を見て／2階だけ見て「おなかいっぱい」／主婦 山崎チエミさん
毎日新聞(朝刊)	R1.5.18	福岡市美術館リニューアルオープン記念展を見て／広くゆったり 自然との共生も／主婦 大西房枝さん
毎日新聞(朝刊)	R1.5.19	福岡市美術館リニューアルオープン記念展を見て／学芸員の解説がわかりやすい／主婦 佐伯つち子さん
西日本新聞(朝刊)	R1.5.23	各地の美術館 新装でコレクション展 改修で所蔵品輝く／(佐々木直樹、川口安子)
毎日新聞(朝刊)	R1.5.23	ボランティアも大活躍／福岡市美術館
毎日新聞(朝刊)	R1.5.24	リニューアル記念展 26日閉幕／(大塚拓三)
ZENBI vol.16 pp.20-21 (全国美術館会議発行)	R1.9.1	ラワンチャイクン寿子「インバウンドとコレクション」

インカ・ショニバレCBE: Flower Power		
西日本新聞(朝刊)	H31.4.5	華やかさと裏腹の影 先入観揺さぶる／インカ・ショニバレさん国内初個展
アーツスケープ 2019年4月15日号	H31.4.15	正路佐知子「収集活動と展覧会活動が次なる展覧会を生む——『インカ・ショニバレCBE :Flower Power』」 https://artscape.jp/report/curator/10153567_1634.html
読売新聞(朝刊)	R1.5.9	搾取、差別…鮮やかに問題提起／英のインカ・ショニバレさん 日本初個展／(堀美緒)
美術手帖 2019年6月号、vol.71 No.1076 pp.206-221 (美術出版社発行)	R1.6.1	石谷治寛(聞き手)「アーティストインタビュー インカ・ショニバレCBE」
いけ花龍生 2019年7月号 pp.13-16(龍生華道会発行)	R1.7.1	松島牧世「インカ・ショニバレCBE: Flower Power展 アフリカンプリントに導かれて花開いたアート」
草月 2019年冬号、pp.48-53 (草月文化事業株式会社発行)	R1.12.1	正路佐知子「植物に魅せられて 3『インカ・ショニバレ CBE』」

富野由悠季の世界—ガンダム、イデオン、そして今

アルトネ	R1.5.10	史上初の「富野由悠季の世界」展はやめた方がいい!? https://artne.jp/report/686
西日本新聞(夕刊)	R1.5.20	「富野由悠季の世界」展 来月22日から、福岡市美術館
島根日日新聞	R1.6.12	「ガンダム」生みの親 初の回顧展
グレートメカニックG 2019 SUMMER(双葉社発行)	R1.6.18	富野由悠季の世界—ガンダム、イデオン、そして今
西日本新聞(夕刊)	R1.6.20	「富野由悠季の世界」展 来月22日から、福岡市美術館／「マニアック」にギャラリートーク
静岡新聞	R1.6.21	ガンダム生みの親 初の回顧展
西日本新聞(朝刊)	R1.6.22	「富野由悠季の世界」展 来月22日から、福岡市美術館／「マニアック」にギャラリートーク
西日本新聞(朝刊)	R1.6.22	きょうから「富野由悠季の世界」展 「ガンダム」の世界広がる
朝日新聞デジタル	R1.6.24	小原篤のアニメガ井 「巨大ロボットものだけど、だから」 https://digital.asahi.com/articles/ASM6M6VX2M6MPTFC00R.html
朝日新聞(朝刊)	R1.6.25	文化・文芸 描かない巨匠の演出 美術館どう見せる?／(小原篤)
朝日新聞デジタル	R1.7.1	小原篤のアニメガ井 「カデジナも、これで天に召されるであります」 https://digital.asahi.com/articles/ASM6V7JQQM6VPTFC00D.html
西日本新聞(朝刊)	R1.7.4	風向計／富野監督が描く「黒歴史」

西日本新聞(朝刊)	R1.7.4	ガンダム 奥深き人間劇／「富野由悠季の世界」展／福岡市で9月1日まで
朝日新聞デジタル	R1.7.8	小原篤のアニメゲ井「せめぎあい宇宙」 https://digital.asahi.com/articles/ASM737KDCM73PTFC03F.html
日本経済新聞(夕刊)	R1.7.9	ガンダム40歳 人類に継承／富野総監督の作品・資料1000点展示
日本経済新聞(夕刊)	R1.7.9	ガンダムが描いた戦争と平和 40周年で富野監督展／(岩本文枝)
読売新聞(西部版)	R1.7.13	「人の革新」ガンダムの主題 富野監督の作品展 福岡で／(若林佳輔)
朝日新聞(夕刊・西部版)	R1.7.13	待ちました! 出会った築いた55年の軌跡／(今井邦彦)
アルトネ	R1.7.19	話題の「富野由悠季の世界」チケットに描かれたキャラクターを大解剖 https://artne.jp/column/747
西日本新聞(朝刊)	R1.7.20	学芸員 語りまーす「富野由悠季の世界」展／緻密な自筆メモ「必見」／(福岡市美術館学芸係長 山口洋三)
西日本新聞(朝刊)	R1.7.23	学芸員 語りまーす「富野由悠季の世界」展／新たな物語を予感／映像生んだ綿密さ／(兵庫県立美術館学芸員・小林公・富山県水墨美術館学芸員・若松基)
西日本新聞(朝刊)	R1.7.24	学芸員 語りまーす「富野由悠季の世界」展／多様な性格に興味／作品にひらめきを／(島根県立岩見美術館・川西由里、静岡県立美術館・村上敬)
西日本新聞(朝刊)	R1.7.25	学芸員 語りまーす「富野由悠季の世界」展／メカニックも重視／少年時代に憧れた／(青森県立美術館・工藤健志、兵庫県立美術館・岡本弘毅)
ガンダムエース9月号No.205 (KADOKAWA発行)	R1.7.26	富野由悠季の世界ーガンダム、イデオン、そして今
アートスケープ	R1.8.1	工藤健志「公立美術館において開催される漫画、アニメ展に関する一考察」 https://artscape.jp/report/curator/10156250_1634.html
西日本新聞(朝刊)	R1.8.6	それでも、人は生きていく 富野由悠季の世界／上 ガンダムの舞台設定／(福岡市美術館学芸係長 山口洋三)
西日本新聞(朝刊)	R1.8.7	風向計／ガンダムとナウシカ
朝日新聞(西部版)	R1.8.7	6美術館の協力で実現 福岡市美術館で富野由悠季展／(今井邦彦)
西日本新聞(朝刊)	R1.8.7	それでも、人は生きていく 富野由悠季の世界／中 「ニュータイプ」とは／(福岡市美術館学芸係長 山口洋三)
西日本新聞(朝刊)	R1.8.8	それでも、人は生きていく 富野由悠季の世界／下 豊饒な迷宮／(福岡市美術館学芸係長 山口洋三)
北海道新聞(夕刊)	R1.8.10	村雨ケンジのこのコマを見よ SFの長老 半世紀の軌跡
西日本新聞(朝刊)	R1.8.17	風向計／活劇の炎とハイジ
西日本新聞(朝刊)	R1.8.21	もっと九州／原曲をアレンジ 原点を見つめ「80歳まで歌う」
朝日新聞(夕刊・西部版)	R1.8.24	勝手にコラム アニメ卒業しなくてもよいものに／(今井邦彦)
西日本新聞(朝刊)	R1.8.25	ガンダム最新作 初試写会／「GのレコンギスタI行け!コア・ファイター」／福岡市で展覧会関連企画
グレートメカニックG 2019 AUTUMN (双葉社発行)	R1.9.18	「富野由悠季の世界」展にいらっしゃいましたのでまんがでレポートします!の巻／(田中むねよし)
西日本新聞 WEB	R1.9.20	監督インタビュー(上)「これは、富野由悠季の世界展じゃない」なぜ本人が否定?
西日本新聞 WEB	R1.9.20	監督インタビュー(中)「僕は欠陥人間」富野由悠季氏が命拾いした理由 「SNSは捨てろ」
西日本新聞 WEB	R1.9.20	監督インタビュー(下)ガンダムの原点は「少年・富野由悠季」が見た写真だった グレコのラストに込めた願い

ギュスターヴ・モロー展 サロメと宿命の女たち		
西日本新聞(朝刊)	R1.8.9	もっと九州／ギュスターヴ・モロー展
西日本新聞(朝刊)	R1.10.2	モロー展が開幕
西日本新聞(朝刊)	R1.10.4	ギュスターヴ・モロー展サロメと宿命の女たち(上) 運命塗り替えた「絶対的な母」／(佐々木直樹)
西日本新聞(朝刊)	R1.10.5	ギュスターヴ・モロー展サロメと宿命の女たち(下) 現代美術の種まいた「革命者」／(佐々木直樹)
アルトネ	R1.10.15	「ギュスターヴ・モロー展」関連コラム 第1回 習作の多い画家／(忠あゆみ) https://artne.jp/column/826
アルトネ	R1.10.17	「ギュスターヴ・モロー展」関連コラム 第2回 モローが夢見たファミ・ファタルとは／(忠あゆみ) https://artne.jp/column/827
アルトネ	R1.10.18	美しさと残酷が共存する中に垣間見る、女性たちへの崇敬「ギュスターヴ・モロー展」／(木下貴子) https://artne.jp/report/823
西日本新聞(朝刊)	R1.10.19	風向計／悪女サロメの「出現」／(大串誠寿)
西日本新聞(朝刊)	R1.10.24	もっと九州／ギュスターヴ・モロー展 来月24日まで、福岡市美術館／潜む「物語」を読み解く／(佐々木直樹)
アルトネ	R1.10.29	元ネタからこんなに変化が? 「サロメ」表現の変遷をたどる講演会／(木下貴子)
朝日新聞(朝刊)	R1.10.30	評 福岡市美「ギュスターヴ・モロー展 サロメと宿命の女たち」／(後藤新治)
ぐらんざ 2019年11月号 No.240 (株式会社ぐらんざ発行)	R1.11.1	ファミ・ファタル(宿命の女)や純真な乙女!象徴主義の画家が描いた女性の真実とは?／(繁竹治顕)
西日本新聞(朝刊)	R1.11.7	もっと九州／モロー展を見に行く／女性たちに謎の「冷たさ」／一角獣は画家の分身?／(田中仁美)
西日本新聞(朝刊)	R1.11.9	風向計／「一角獣」と少女マンガ／(大串誠寿)
アルトネ	R1.11.19	『怖い絵』シリーズ・中野 京子氏 講演会『モローが愛した女たち〜怪物から乙女まで』／(浅野佳子) https://artne.jp/report/874

不思議の国のアリス展		
西日本新聞(朝刊)	R1.12.13	アリスの世界 胸躍る／(藤村玲子)
西日本新聞(朝刊)	R1.12.24	アリスの世界 その魅力と不思議(上)／即興「私のために書いて」／(藤村玲子)
西日本新聞(朝刊)	R1.12.25	アリスの世界 その魅力と不思議(中)／多彩アリスグッズ発案／(藤村玲子)
アルトネ	R1.12.25	世界中で愛されるアリスの魅力が凝縮! 福岡市美術館で特別展「不思議の国のアリス展」が開幕／(秋吉真由美) https://artne.jp/report/907
西日本新聞(朝刊)	R1.12.26	アリスの世界 その魅力と不思議(下)／触発「夢」が導く創作意欲／(藤村玲子)

大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演 【同時開催】まぼろしの春画 国貞三源氏		
読売新聞(朝刊)	R1.12.10	大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演
読売新聞(朝刊)	R1.12.13	夢の競演 5人の浮世絵師／福岡市美術館／1月28日から
読売新聞(朝刊)	R2.1.27	大浮世絵展 あすから／福岡市美術館／名作が一堂に
読売新聞(朝刊)	R2.1.28	スター絵師 九州お目見え／大浮世絵展きょう開幕／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	R2.1.28	華やか三源氏／歌川国貞の春画／(福岡市美術館学芸員 宮田太樹)
読売新聞(朝刊)	R2.1.29	「大浮世絵展」開幕
読売新聞(朝刊)	R2.2.2	浮世絵の魅力学ぶ／福岡市美術館で特別講演
読売新聞(朝刊)	R2.2.11	大浮世絵展1／葛飾北斎「諸国瀧廻り 相州大山ろうべんの瀧」／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	R2.2.12	大浮世絵展2／歌川広重「東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪」／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	R2.2.13	大浮世絵展3／歌川国芳「其まき地口猫飼好五十三疋」／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	R2.2.14	大浮世絵展4／喜多川歌麿「婦女人相十品 煙草の煙を吹く女」／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	R2.2.15	大浮世絵展5／東洲斎写楽「3代目大谷鬼次の江戸兵衛」／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)
読売新聞(朝刊)	R2.2.27	本社主催イベント中止等のお知らせ
読売新聞(朝刊)	R2.3.21	きょう再開

公募展

第51回福岡市美術展		
西日本新聞(朝刊)	R2.3.28	最高賞 洋画の代住さん 31日から展示市美術館改修で4年ぶり
西日本新聞(朝刊)	R2.3.29	福岡市美術展 入賞・入選作品紹介 上(洋画、彫刻、工芸)
西日本新聞(朝刊)	R2.3.30	福岡市美術展 入賞・入選作品紹介 下(日本画、書、写真、デザイン)

コレクション展

美術手帖 2019年4月号 vol.1075 pp.140-141 (美術出版社発行)	H31.4.1	福岡市美術館／学芸員の山口洋三に聞く／これがわたしたちのコレクション+インカ・ショニバレCBE: Flower Power
毎日新聞(朝刊)	R1.6.27	応挙の「竹鶴・若松図屏風」市美術館で展示
西日本新聞(朝刊)	R1.8.10	福岡市美術館の所蔵展示／ダリ シャガール ミロ 原爆、ナチスと向き合う／(吉田昭一郎)
毎日新聞(朝刊)	R1.8.23	ふくおか探索／福岡市美術館一週末は開館時間延長／夕暮れに落ち着くスポット／(杣谷健太)
日本経済新聞(朝刊)	R1.9.19	至宝探訪／仙厓義梵「すす玉名人図」／描画軽妙 弾ける遊び心／(原田真紀)
目の眼 2019年10月号 vol.517 pp.52-53 (株目の眼発行)	R1.10.1	国際都市福岡の美の玄関口 リニューアルされた福岡市美術館を訪ねる
西日本新聞(朝刊)	R1.12.20	「コレクション」に改めて光 「不自由展」議論受け 社会的役割も宿題に

茶道具の「次第」		
wa vol.83 2020 p.13 (福岡市文化芸術振興財団発行)	R1.5.23	おしゃべりな学芸員「茶道具を入れた箱を入れた箱を入れた箱を入れた箱を入れた箱」／(福岡市美術館学芸員 後藤恒)

夏休み子ども美術館		
ファンファン福岡	R1.8.9	夏休み子ども美術館2019 美術のひみつ 昔の美術編
朝日新聞(夕刊)	R1.8.20	夏休み子ども美術館 美術のひみつ 昔の美術編
Miik JAPON WEB (Lifestyle magazine for modern family)	R1.8.29	〈福岡市美術館〉で「夏休み子ども美術館2019『美術のひみつ〜昔の美術編』」を開催! https://fasu.jp/event/1043/

企画展

仙厓ー小西コレクション		
日本経済新聞(朝刊)	R1.9.19	至宝探訪／仙厓義梵「すす玉名人図」／描画軽妙 弾ける遊び心／(原田真紀)
和楽 2019年10・11月号 p.249 (小学館発行)	R1.10.1	注目の展覧会／[福岡市美術館]仙厓ー小西コレクション
朝日新聞(朝刊)	R1.10.16	悟りの境地を「ゆるカワ」で／初公開作品も 仙厓展 福岡と北九州で／(上林格)
京都新聞(朝刊)	R1.11.2	情報ワイド／仙厓義梵の企画展 福岡市美術館／臨濟宗妙心寺派の僧／(内田孝)

梅田哲也 うたの起源		
アートスケープ 2019年11月15日号	R1.11.15	正路佐知子「キュレーターズノート 周年を迎える美術館が見せるものー『アジア美術、100年の旅』と『梅田哲也うたの起源』」https://artscape.jp/report/curator/10158440_1634.html
西日本新聞(朝刊)	R2.1.6	「梅田哲也うたの起源」展覧会 見えない音への想像刺激／(諏訪部真)
朝日新聞(夕刊)	R2.1.21	視線／美術館とは 揺さぶる試み／(大西若人)
美術手帖 2020年2月号 vol.72 No.1080 pp.166-171 (美術出版社発行)	R2.2.1	高嶋慈「ARTIST PICK UP梅田哲也」
アートコレクターズ 2020年3月号 vol.32 pp.140-141	R2.2.2	伊藤まゆみ「展覧会レビュー 梅田哲也『うたの起源』」
アートスケープ 2020年1月15日号	R2.1.15	高嶋慈「artscapeレビュー 梅田哲也 うたの起源」 https://artscape.jp/report/review/10159409_1735.html
paperC	R2.4.1	文・構成：永江大＋鈴木瑠璃子「INTERVIEW：梅田哲也 ただそこにある小さな声と時間を思うこと1/3」 https://paperc.info/on-site/2001_tetsuya-umeda
paperC	R2.7.11	文・構成：永江大＋鈴木瑠璃子「INTERVIEW：梅田哲也 ただそこにある小さな声と時間を思うこと2/3」 https://paperc.info/on-site/2006_tetsuya-umeda
paperC	R2.7.11	文・構成：永江大＋鈴木瑠璃子「INTERVIEW：梅田哲也 ただそこにある小さな声と時間を思うこと2/3」 https://paperc.info/on-site/2007_tetsuya-umeda

リニューアル事業

アートスケープ 2019年4月15日号	H31.4.15	これがあなたのコレクション!——新しくなった福岡市美術館とリニューアル記念展：360°ビュー／(岩永悦子／山口洋三／後藤恒／正路佐知子) https://artscape.jp/report/360/10153585_20985.html
読売新聞(朝刊)	H31.4.7	かけ橋／読者と美術つなぐ一助に／(堀美緒)
アルトネ	R1.5.29	「これがわたしたちのリニューアル」福岡市美術館が新しくなりました! LOVE FM「OUR CULTURE, OUR VIEW」より【コラム】／(浅野佳子)
ミュージアムキッズ 9号 pp.4-5 (こどもひかりプロジェクト発行)	R1.6.1	ワークショップどきどき体験1／みて、触れて、アートを楽しもう!／新しくなった福岡市美術館!
ぐるたび	R1.6.3	リニューアルした「福岡市美術館」が魅力的すぎる!感じて楽しむアート空間へ https://gurutabi.gnavi.co.jp/a/a_2945/
リトルママ 2019年7月号	R1.6.15	雨の日も、あつ〜い夏にもびったり／子どもと一緒に美術館を楽しもう!
bp best practice for public space vol.31 pp.27-32 (オカムラ発行)	R1.9.1	福岡市美術館/アート・建築・自然を堪能する「開かれた」美術館
地域創造 vol.45、pp.16-21	R1.12.25	及位友美「前川國男建築をPFIで改修 つなぐ、ひろがる、開かれた美術館へ」

その他事業

形 forme no.319 p.27 (日本文教出版)	R1.10.25	福岡市美術館 どこでも美術館
西日本新聞(朝刊)	R1.11.14	福岡市成130年記念式典 市政貢献 団体など表彰／記念彫刻デザイン発表
読売新聞(朝刊)	R1.11.15	はためく帆をイメージ／来年福岡市美術館設置の彫刻
ミュージアムキッズ10号 pp.14-15 (こどもひかりプロジェクト発行)	R1.12.1	未来を担う子どもたちへ／誰もが気軽に立ち寄れるミュージアムを目指して／福岡市美術館 館長 中山喜一郎さん
朝日新聞(夕刊)	R1.12.28	大スケールの彫刻 新たな「顔」に?／福岡市美術館 9000万円で購入／(島崎周)

どこでも美術館

当館のリニューアル工事に伴う休館中(平成28年9月～31年3月)に行うアウトリーチ活動として、平成28年11月より開始。作品鑑賞や美術体験ができる、持ち出し式の教材(ボックス)を使用したプログラムを、学校、公民館、病院等を対象に実施してきた。美術館リニューアル後の本年度からは、学校にボックスを貸し出す「どこでも美術館ティーチャーズ・プラス」を開始し、館外での活動は「どこでも美術館アウトリーチ」として、美術館に来ることが難しいと考えられる院内学級、特別支援学校や離島の学校、公民館等の高齢者向けの活動などを対象に継続することとした。

1 どこでも美術館ティーチャーズ・プラス

学校での美術鑑賞授業などに活用してもらうため、ボックスの貸出を行う事業。

対象：主に市内の小・中・高校

貸出ボックス：

絵画①マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》複製

②長谷川派《韃靼人狩獵図屏風》複製

③尾形乾山《花籠図》複製

やきもの

染め・織りもの

素材と技法①油彩画 ②日本画 ③彫刻素材 ④螺鈿

⑤版画



絵画①マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》複製



やきもの

貸出校・施設 市内小中学校5件、大学2件、公共施設2件、研究会2件 全11件 計926人

貸出校・施設	学年	貸出したボックス	利用日	利用人数
屋形原特別支援学校	小・中・高	染め・織りもの	5月15日、21日	22
九州大学理学部博物館教育論		染め・織りもの	7月14日	35
原北中学校	1・2	素材と技法②	8月11日、12日	28
九州芸文館	こども向け	素材と技法⑤	8月25日	12
博多小学校	5	染め・織りもの	9月10日	100
福岡市小学校図画工作研究会		絵画①、②／やきもの／素材と技法①～⑤	9月7日	30
大野城まどかぴあ		素材と技法⑤	10月20日	15
南当仁小学校	1	染め・織りもの	10月8日、9日	123
福岡市中学校美術教育研究会		絵画①、②／やきもの	10月9日	25
九州産業大学芸術学部「九州・沖縄版画プロジェクト2019」展		素材と技法⑤	1月8日～16日	478 (観覧者数)
東光中学校	1	絵画①、②	1月10日	58

2 どこでも美術館アウトリーチ

当館の学芸員が、館外でボックスを活用した美術鑑賞・体験プログラムを行う事業。

対象：市内の院内学級、特別支援学校、離島および公共交通機関で来にくい地域の小中学校、公民館等の高齢者向け活動など

プログラム内容：

絵画・彫刻①マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》

②長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》

③藤浩志《ヤセ犬》

やきもの

染め・織りもの

素材と技法①油彩画 ②日本画 ③彫刻素材 ④螺鈿 ⑤版画

ワークショップ



公民館での活動の様子

実施校・施設 市内小中学校5件、公民館8件、病院1件 全14件 計353人

実施日程	実施校・施設	学年	人数	利用ボックス
6月5日(水)	屋形原特別支援学校	6	18	染め・織りもの
6月6日(木)	西花畑公民館		28	絵画・彫刻①／素材と技法①
6月21日(金)	生の松原特別支援学校高等部	1～3	17	絵画・彫刻①
6月26日(水)	朝倉記念病院		70	絵画・彫刻①／素材と技法①
7月2日(火)	愛宕公民館		43	絵画・彫刻①
7月3日(水)	玄界中学校	1～3	8	絵画・彫刻①／素材と技法①
7月6日(土)	今津特別支援学校中学部	1～3	14	染め・織りもの
7月19日(金)	賀茂公民館		23	絵画・彫刻①／素材と技法①
9月3日(火)	千代中学校(院内学級)	小・中	6	染め・織りもの
9月4日(水)	姪北公民館		16	絵画・彫刻②／素材と技法②
9月10日(火)	野芥公民館		29	絵画・彫刻②／素材と技法②
9月18日(水)	弥永公民館		25	染め・織りもの
9月20日(金)	田隈公民館		36	染め・織りもの
9月26日(木)	小笹公民館		20	絵画・彫刻②／素材と技法②

企画担当：中原千代子

スクールツアー

主に市内の小中学校を対象に、児童・生徒が美術に興味を持って美術作品を楽しく鑑賞し、美術館を身近な施設として体験してもらうためのプログラム。当館のギャラリーガイドボランティアが、児童・生徒に向けて、一緒に会話をしながら当館のコレクションを紹介するギャラリーツアーを実施している。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年2月27日～3月末はツアー中止。

市内小・中学校に対するスクールツアー

実施数 団体数21件 児童・生徒1,491人 引率83人 計1,574人

来館日程		学校名	学年	児童・生徒(人)	引率(人)	合計(人)
令和元年	6月7日(金)	西陵小学校	6	37	3	40
	7月9日(火)	福岡教育大学附属福岡中学校	1	1	0	1
	9月23日(月・祝)	原北中学校 美術部	1、2	26	1	27
	9月26日(木)	南当仁小学校	2	60	2	62
	9月27日(金)	南当仁小学校	2	62	3	65
	10月8日(火)	福岡大学附属大濠中学校	2	171	7	178
	10月11日(金)	西高宮小学校	1	186	8	194
	11月6日(水)	田島小学校	5	96	5	101
	11月12日(火)	宮竹小学校(特別支援学級)	1～6	21	5	26
	11月19日(火)	東箱崎小学校(特別支援学級)	1～6	9	2	11
	11月27日(水)	南当仁小学校	5	71	2	73
	11月28日(木)	南当仁小学校	5	35	2	37
	12月3日(火)	原北小学校	5	109	4	113
	12月4日(水)	八田小学校	5	88	5	93
	12月5日(木)	和白東小学校	6	115	4	119
	12月12日(木)	香椎小学校(特別支援学級)	1～6	22	6	28
令和2年	1月9日(木)	福岡教育大学附属福岡小学校	4	68	3	71
	1月17日(金)	千早西小学校	5	58	3	61
	1月17日(金)	姪北小学校	5	73	4	77
	1月26日(日)	市内中学校交流ワークショップ	1～3	26	6	32
	1月29日(水)	北崎小学校	5	16	2	18
	1月31日(金)	壱岐南小学校	5	95	3	98
	2月7日(金)	東箱崎小学校	5	46	3	49

その他の学校団体

実施数 団体数9件 児童・生徒247人 引率26人 計273人

来館日程		学校名	学年	児童・生徒(人)	引率(人)	合計(人)
令和元年	7月2日(火)	KTCおおぞら高等学院	1～3	20	1	21
	7月18日(木)	遠賀郡芦屋町立芦屋中学校 美術部	1～3	23	1	24
	7月26日(金)	京都府みやこ町立勝山中学校 美術部	1～3	9	3	12
	9月8日(日)	福岡県立博多青松高等学校	1～3	21	5	26
	10月3日(木)	島原市立大三東小学校	6	49	5	54
	11月23日(土)	筑後市立羽犬塚中学校 美術部	1～3	29	2	31
	12月3日(火)	古賀市特別支援学校	1～6	4	4	8
	12月20日(金)	糸島市立前原南小学校	5	92	5	97

総計 団体数29件 児童・生徒1,738人 引率109人 計1,847人

つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、月1回、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について講義を行った。会場は、第1回と第7回のみ福岡市美術館ミュージアムホール、その他は全て同館レクチャールームにて開催。

第1回 インカ・ショニバレCBEの活動と作品について

講師：正路佐知子 開催日：平成31年4月27日(土) 15:00～16:00 聴講者数：53人

第2回 誰もが楽しめる美術館を目指して

講師：古賀弥生(九州産業大学教授)、鬼本佳代子
開催日：令和元年5月25日(土) 15:00～16:00 聴講者数：28人

第3回 小さなメディアに思いをのせる 藤森静雄と『月映』の時代

講師：忠あゆみ 開催日：令和元年6月22日(土) 15:00～16:00 聴講者数：15人

第4回 修復の目でみる油絵の不思議

講師：渡抜由季 開催日：令和元年7月13日(土) 15:00～16:00 聴講者数：10人

第5回 アウトリーチ「どこでも美術館」教材制作の裏話―版画ボックス編―

講師：上野真歩 開催日：令和元年8月31日(土) 15:00～16:00 聴講者数：15人

第6回 藤田嗣治の針仕事

講師：岩永悦子 開催日：令和元年9月28日(土) 15:00～16:00 聴講者数：52人

第7回 小西コレクションとその魅力

講師：宮田太樹 開催日：令和元年10月19日(土) 15:00～16:00 聴講者数：65人

第8回 「富野由悠季の世界」展をふりかえる

講師：山口洋三 開催日：令和元年11月16日(土) 15:00～16:00 聴講者数：18人

第9回 「使う器／見る器」展をしっかりと楽しむために

講師：後藤恒 開催日：令和元年12月21日(土) 15:00～16:00 聴講者数：38人

第10回 灯明ウォッチングに見る技術とその展開～最近の事例を制作者の立場から～

講師：徳永昭夫 開催日：令和2年1月18日(土) 15:00～16:00 聴講者数：13人

第11回 R1と美術館～画期的に新しい一年～

講師：中山喜一郎 開催日：令和2年2月15日(土) 15:00～16:00 聴講者数：30人

第12回 美術館の教育活動を知っていますか?エデュケーションからラーニングへ

講師：嶋田明香 開催予定日：令和2年3月28日(土) 15:00～16:00
※第12回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止。

聴講者数 計337人

福岡ミュージアムウィーク2019

博物館・美術館の社会的役割を広く多くの方に知ってもらうために、ICOM(国際博物館会議)により定められた「国際博物館の日」(5月18日)。これを記念して、福岡市内の博物館・美術館等が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」「知識の場」「発見の場」である博物館・美術館の魅力を味わってもらうことを目的とした事業。本年度は18施設が参加した。

連 携 館：福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町屋」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、三菱地所アルティアム、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、ハクハク、味楽窯美術館、福岡女子大学美術館、福岡市科学館

期 間：令和元年5月18日(土)～5月26日(日)

・期間中、リニューアルオープン記念展の入場料金の割引サービスを実施した。

■野村誠コンサート「ノムラノピアノ×福岡市美術館」

作曲家・音楽家の野村誠氏は、2009年に当館で開催した音楽ワークショップ「コレコネ組曲」で、参加者とともに所蔵品にちなんだ21のピアノ曲を作曲した。今回、これらの曲を中心としたピアノソロコンサートを開催した。

日 時：5月18日(土) 14:00～15:30
演 奏：野村誠(作曲家・音楽家)
会 場：ミュージアムホール
参 加 費：無料
聴講者数：141人



野村誠コンサート「ノムラノピアノ×福岡市美術館」の様子

■つきなみ講座「誰もが楽しめる美術館を目指して」

九州産業大学教授・古賀弥生氏を招き、当館学芸員と対談形式で「誰もが楽しめる美術館」について語る講座を開催した。

日 時：5月25日(土) 15:00～16:00
講 師：古賀弥生(九州産業大学教授)、鬼本佳代子
会 場：レクチャールーム
参 加 費：無料
聴講者数：28人

■ギャラリートーク

当館学芸員によるコレクション展示の解説を行った。

古美術
日 時：5月19日(日) 15:00～16:00
講 師：宮田太樹
会 場：1階コレクション展示室
参加者数：43人

近現代美術
日 時：5月26日(日) 15:00～16:00
講 師：山口洋三
会 場：2階コレクション展示室
参加者数：70人

参 加 費：各回ともに無料(ただし、リニューアルオープン記念展チケットが必要)

■ギャラリーツアー

当館のギャラリーガイドボランティアが、コレクション展示の中から作品3点を紹介するツアーを行った。

日 時：5月18日(土)～22日(水) 11:00～、14:00～
5月23日(木)、24日(金) 11:00～
5月25日(土)、26日(日) 11:00～、14:00～

会 場：コレクション展示室

参 加 費：無料(ただし、リニューアルオープン記念展チケットが必要)

参加者数：89人

■英語ツアー

当館のギャラリーガイドボランティアが、コレクション展示の中から3点を英語で紹介するツアーを行った。

日 時：5月23日(木)、24日(金) 14:00～(30分～40分程度)

会 場：コレクション展示室

参 加 費：無料(ただし、リニューアルオープン記念展チケットが必要)

参加者数：12人

■子ども探検隊

子どもを対象に、美術館のバックヤードツアーとコレクション展示室でギャラリートークを行った。

日 時：5月19日(日) 10:00～11:00

会 場：美術館のバックヤードおよびコレクション展示室

ファシリテーター：鬼本佳代子

対 象：小・中学生

参 加 費：無料

参加者数：20人



「子ども探検隊」の様子

■建築ツアー

リニューアルした福岡市美術館の建築を鑑賞するツアーを行った。

日 時：5月26日(日) 10:30～12:00

ファシリテーター：中山喜一郎

参 加 費：無料(ただし、リニューアルオープン記念展チケットが必要)

参加者数：20人

企画担当：鬼本佳代子

夏休みこども美術館2019

夏休みこども美術館2019「美術のひみつ～昔の美術編」

当館で毎夏開催している教育普及事業「夏休みこども美術館」。令和元年度は、美術作品のさまざまな側面を子どもたちに紹介するというテーマのもと、「素材」「来歴」「学芸員によるみどころ」に焦点をあて、展覧会を構成。また、展覧会場では同時に「夏休みこどもとしょかん」を開催し、子どもむけの図書を紹介。関連事業として、日本画を実際に描くワークショップや、ボランティアによる子ども向けギャラリートークも行った。

期 間：令和元年7月30日(火)～9月29日(日)

印 刷 物：チラシ(A4) ワークシート(A3二つ折り)

こどもギャラリー「美術のひみつ～昔の美術編」

内 容：当館所蔵の古美術作品を章1「美術作品って何から出来ているの?」、2「美術作品はどうやって美術館にやってきたの?」、3「美術作品はどうやって楽しむの?」と3つの章にわけて子ども向けに展示した。章1では九州大学総合研究博物館の協力を得、和紙の原料であるコウゾやミツマタ、顔料の素材となる鉱石を展示。章2では、田中丸コレクション「九州古陶の美」を子ども向けに紹介。章3では、当館の古美術専門学芸員の一押し作品を各学芸員のコメント付きで紹介した。

会 場：古美術企画展示室

会 期：令和元年7月30日(火)～9月29日(日)

作品点数：25点

中学生以下の入場者数：1,268人

協 力：九州大学総合研究博物館



こどもギャラリー
「美術のひみつ～昔の美術編」展示の様子

こどもワークショップ「日本画にチャレンジしよう!」

内 容：日本で古来より使用されている岩絵具や膠、墨を使って絵画作品を制作した。また、制作後に自分が使った絵具や技法がどのようなものかを確認するため、「こどもギャラリー」にて作品鑑賞を行った。

講 師：松久公嗣(福岡教育大学教授)

日 時：令和元年8月3日(土) 10:00～15:00

対 象：小学校3年生～中学生

参加人数：21人



こどもワークショップ
「日本画にチャレンジしよう!」の様子

ギャラリーツアーforキッズ

内 容：当館ボランティアによる子ども向けギャラリートークを実施。参加した子どもたちに、さまざまな「紙」に実際に触れ、作品の素材について知ってもらったり、作中の人物が何を話しているかを考えてもらうなどした。

開 催 日：令和元年8月6日(火)～25日(日) 14:00～ ※ただし、台風により8月6日(火)、8月15日(木)は中止。

参加人数：60人

「夏休みこどもとしょかん」についてはP.32を参照。

企画担当：鬼本佳代子

ファミリーDAY

若い世代の家族に向け、開館記念日の周知と、家族で体験する美術・美術館の楽しさ、面白さを知ってもらうために、11月3日の開館記念日を含む3日間をファミリーDAYとし、平成25年度より開催している事業。本年はワークショップ等の教育普及プログラムを館内各所で実施した。

日時：令和元年11月2日(土)～4日(月・休)10:00～15:00
延べ参加人数：1,622人(子ども886人、大人736人)
ボランティアスタッフ：
館内ボランティア27人、学生ボランティア20人、実習生5人
印刷物：A4版チラシ

特に講師名のないものは、美術館職員とボランティアが実施した。

■ぬってみよう!はってみよう!

内容：当館所蔵作品のぬり絵に、好きな色を塗ったり、紐やビーズ、包装紙などをコラージュするプログラム。
日時：11月2日(土)～4日(月・休)10:00～15:00
場所：1階ロビー
定員：15名程度(入れ替わり制)
対象：未就学児童以上

■ミニミニワークショップ

内容：大きなたねのなかに入った素材を取り出し、その素材を使って「森のなかま」を作る未就学児童向けのプログラム。
日時：11月2日(土)～4日(月・休)10:00～15:00
場所：2階キッズスペース 森のたね
定員：10名程度(入れ替わり制)
対象：未就学児童と小学生、その保護者

■かいとうキッズ お宝みつけ!

内容：作品のシルエットをヒントに展示室で作品を見つけ鑑賞を楽しむワークシート形式のクイズ。
日時：11月2日(土)～4日(月・休)10:00～15:00
場所：受付2階ロビー、館内各所
対象：小学生以上

■初めてのベビーカーツアー

内容：小さな子どもと保護者がベビーカー等で移動しながら初めての作品鑑賞をするツアー。
日時：①11月2日(土)10:00～10:40、②3日(日・祝)10:00～10:40
対象：0～1歳半くらいまでのこどもと保護者(ベビーカーか抱っこ紐で移動)(事前申込制)
参加者数：①13人②14人



「ぼくもわたしもほとけさま。ほとけさまの服をつくろう!」の様子

■わくわく!立体でつくる絵の世界

内容：ジョアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》を鑑賞し、作品に描かれているモチーフが絵から飛び出したらどんな形や手触りなのか想像し、紙コップや針金、ボール紙などを使ってそれを立体的に表現した。
日時：11月2日(土)13:00～15:00
場所：アートスタジオ
参加者数：5人

■ぼくもわたしもほとけさま。ほとけさまの服をつくろう!

内容：東光院仏教美術室に展示されている仏像を鑑賞し、布、リボン、ボタンなどを使い自分が「ほとけさま」になったときの服を想像し製作した。
日時：11月3日(日・祝)13:00～15:00
場所：アートスタジオ
参加者数：28人

■仙厓さんの手ぬぐいをつくろう!

内容：仙厓義梵の作品をシルクスクリーンでさらしに刷り、手ぬぐいをつくった。
日時：11月4日(月・休)①10:30～12:00、②13:00～14:30
講師：三枝孝司(九州産業大学 芸術学部 教授)
場所：アートスタジオ
定員：10名程度(入れ替わり制、材料が無くなり次第終了)
対象：5歳以上
参加者数：199人

企画担当：上野真歩

第6回 いきヨウヨウ講座「自分色をつくる」

社会的には超高齢社会に突入しており、シニア世代の文化活動をサポートする教育活動の必要性が以前にも増してきた。この講座は、60歳以上を対象とすることで、より幅広い層にアプローチし、美術・美術館の楽しさを伝えるとともに、シニア世代向けの美術教育活動の可能性を探るものである。今回の講座では「色」をテーマとして、参加者が作品を見ながら、好きな色について話し合い、今の自分の気持ちを色で表す。また、数点作品を選び、対話型鑑賞を行う。その後、今日の自分の気持ちの色の絵具を、顔料と油を用いて作成し、自分自身の「気持ち」を具体化し、向き合うことを促す。

日時：令和2年3月15日(日)
場所：アートスタジオ、コレクション展示室
講師：加藤隆之(福岡教育大学准教授)
募集人数：20人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

企画担当：鬼本佳代子

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により毎年実施している。令和元年度は下記大学の5人を受け入れた。実習期間は令和元年5月7日から11月30日のうちの10日間。

■西南学院大学	国際文化学部	国際文化学科	1人
	人間科学部	社会福祉学科	1人
■福岡大学	人文学部	文化学科	2人
■九州産業大学	芸術学部	ソーシャルデザイン学科	1人

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度6校を受け入れて、コレクション展示の受付、監視等の体験学習を行った。

令和元年7月9日(火)～7月10日(水)	福岡市立三宅中学校	第2学年	2人
令和元年7月10日(水)～7月11日(木)	福岡市立警固中学校	第2学年	5人
令和元年9月3日(火)～9月4日(水)	福岡市立友泉中学校	第2学年	4人
令和元年9月4日(水)～9月5日(木)	福岡市立城西中学校	第2学年	2人
令和元年9月4日(水)	福岡市立舞鶴中学校	第2学年	2人
令和元年9月5日(木)～9月6日(金)	福岡市立能古中学校	第2学年	1人

図書企画

■美術情報コーナー図書特集

美術情報コーナーの書棚の一部に当館開催の展覧会に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

1.コレクション展関連図書特集

コレクション展示室での各展示に関連する図書を特集した。

2.特別展関連図書特集

令和元年6月22日(土)～9月1日(日)「富野由悠季の世界」関連

令和元年10月1日(火)～11月24日(日)「ギュスターヴ・モロー展」関連

令和元年12月3日(火)～令和2年1月19日(日)「不思議の国のアリス展」関連

令和2年1月28日(火)～3月22日(日)「大浮世絵展」関連



「夏休みこどもとしょかん」の様子

■夏休みこどもとしょかん

会期：令和元年7月30日(火)～9月29日(日)

会場：古美術企画展示室

内容：夏休みこども美術館2019「美術のひみつ～昔の美術編」に関連して、美術作品の鑑賞のヒントが書かれているものや展示作品に関連するものなど、美術に関心を持ったり理解を深めてもらえたりするような児童向けの絵本・美術書など22冊を特集した。

企画担当：中務美紀

ボランティア活動

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。また、ギャラリーガイドボランティアの中から希望者を募り、5月から英語ボランティアの活動を開始した。さらに、8月には新規ボランティア(第9期)を募集し、9月から研修を実施した。また、令和2年2月27日から3月末は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ボランティア活動を中止した。

令和元年度の登録人数

ギャラリーガイド	新聞情報	図書整理	美術家情報整理	計
52	32	18	12	114

■総会

日 時：令和元年5月22日(水)

場 所：ミュージアムホール

■10年任期ボランティア感謝状贈呈式

日 時：令和元年5月22日(水)

場 所：ミュージアムホール

対象ボランティア：35人

■ボランティア交流会

日 時：令和2年1月22日(水)

参加人数：OB 7人 現役 23人

■新規ボランティア募集

期 間：令和元年7月10日(水)～8月10日(土)

応募人数：138人

■新規ボランティア研修

第1回研修 令和元年9月28日(土)、10月2日(水)10：00～12：00

第2回研修 令和元年10月5日(土)、10月9日(水)10：00～11：50

第3回研修 令和元年10月12日(土)、10月17日(木)10：30～12：20

第4回研修 令和元年10月19日(土)、10月25日(金)10：00～12：30

第5回研修 令和元年10月26日(土)、10月29日(火)10：00～11：55

第6回研修 令和元年11月10日(日)、11月13日(水)10：00～11：55

第7回研修 令和元年11月17日(日)、11月21日(木)10：00～11：55

第8回研修 令和元年12月1日(日)、12月3日(火)10：00～11：55

第9回研修 令和元年12月14日(土)、12月18日(水)10：00～11：55

第10回研修 令和元年12月21日(土)、12月24日(火)10：00～11：55

研修修了者：109人(うち再応募28人)

ギャラリーガイドボランティア

【活動内容】

■ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分程度、当館の所蔵作品を紹介するギャラリーツアーを実施している。ボランティアは、コレクション展の展示作品から3作品を選び、対話型と解説型を織り交ぜたハイブリッド型で、鑑賞活動を行った。参加は無料。

※令和元年8月6日～8月25日の「夏休みこども美術館2019」会期中の14時は「ギャラリーツアーforキッズ!夏休み特別版」を開催。また、令和元年11月2日～4日は「ファミリーDAY 2019」のため、令和2年2月27日～3月末は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中止。

参加延べ人数：1,042人

■団体向けツアー

前頁ギャラリーツアー以外に、申込みいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は以下の通り。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年2月27日～3月末はツアー中止。

実施数	団体数27件	児童・生徒138人	一般672人	引率14人	総計824人	
	来館日程	団体名	児童・生徒	一般(人)	引率(人)	合計(人)
平成31年	4月17日(水)	上臼井公民館サロン		34		34
令和元年	5月25日(土)	久原本家		8		8
	6月1日(土)	光徳寺		40		40
	6月4日(火)	JAF優待施設連絡会		42		42
	6月18日(火)	南当仁公民館 高齢者地域参画支援事業「こうじゅ大学」		25		25
	6月29日(土)	京都造形芸術大学(通信制)	22		1	23
	7月6日(土)	西南学院大学博物館教育論	13		1	14
	7月14日(日)	九州大学理学部博物館教育論	49		1	50
	8月4日(日)	武雄くら園(研修)	2	24		26
	8月10日(土)	お寺のこども会	9	9		18
	8月24日(土)	福岡市中央区青少年育成連絡会	30	21		51
	9月3日(火)	福岡市中央区公民館主事会		10		10
	9月5日(木)	久留米市北野生涯学習センター		32		32
	9月12日(木)	福岡市早良区更生保護女性会		36		36
	9月25日(水)	うちこしの会		105		105
	10月1日(火)	西新公民館 熟年大学		47		47
	10月1日(火)	福岡市西区公民館主事会		26		26
	10月12日(土)	長住公民館	13	5		18
	10月13日(日)	秋の種まきツアー		10	5	15
	10月23日(水)	原西公民館 実年行楽部		50	2	52
	10月25日(金)	大野城市ボランティア		14		14
	10月29日(火)	北九州市八幡東区ボランティア連絡協議会		41		41
	11月22日(金)	福岡手話の会 昼間支部		28		28
	11月30日(土)	糸島市民大学		20		20
	12月3日(火)	古賀市特別支援学校		4	4	8
	12月18日(水)	福岡市科学館ボランティア		12		12
令和2年	2月4日(火)	九州労働金庫福岡県庁前		29		29

■スクールツアー

学校団体を対象にギャラリーツアーを行っている。詳細は「スクールツアー」の項目(p.25)を参照のこと。

■英語ツアー

令和元年度から、ギャラリーガイドボランティアの中から希望者を募り、英語ボランティアの活動を開始した。毎月4回(火、木、金、土の各1回)コレクション展に展示されている作品から3点を選んで、英語で作品を紹介した。参加は無料。事前予約制だが、当日空きがあれば参加可とした。なお、令和2年2月27日～3月末は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止。

参加延べ人数：99人

■新規ボランティア グループ研修

新規ギャラリーガイドボランティアを対象に、ツアーの方法等について、以下の日程で研修(全7回)を行った。第7回については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し翌年度に延期。

グループ研修参加新規ボランティア：60人(うち再応募13人)

第1回 令和2年1月11日(土)14：00～16：00、1月15日(水)10：00～12：00

第2回 令和2年1月18日(土)、1月22日(水)10：00～12：00

第3回 令和2年1月25日(土)、1月30日(木)10：00～12：00

第4回 令和2年2月1日(土)、2月5日(水)10：00～12：00

第5回 令和2年2月9日(日)、2月12日(水)10：00～12：00

第6回 令和2年2月16日(日)、2月19日(水)10：00～12：00

第7回 令和2年2月25日(火)～3月8日(日)※翌年度に延期

新聞情報ボランティア

【活動内容】

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。

月曜日：毎日新聞

火曜日：読売新聞

水曜日：西日本新聞

木曜日：朝日新聞

土曜日：日経新聞

月に1回合同作業日を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。死亡記事の整理作業は、月末に各曜日持ち回りで行う。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、ほぼ月1回のペースで作成した。

平成31年		
4月10日(水)	合同作業	平成30年9月分記事整理(参加4人)
4月24日(水)	死亡記事整理	(参加4人)
令和元年		
5月16日(木)	合同作業	平成30年10月分記事整理(参加7人)
5月27日(月)	月曜グループ	「おすすめ新聞美術記事」第190号作成
5月30日(木)	死亡記事整理	(参加2人)
6月1日(土)	合同作業	平成30年11月分記事整理(参加3人)
6月25日(火)	火曜グループ	「おすすめ新聞美術記事」第191号作成
7月1日(月)	合同作業	平成30年12月分記事整理(参加8人)
7月6日(土)	死亡記事整理	(参加2人)
7月29日(月)	死亡記事整理	(参加3人)
7月31日(水)	水曜グループ	「おすすめ新聞美術記事」第192号作成
8月20日(火)	死亡記事整理	(参加2人)
8月27日(火)	合同作業	令和元年1月分記事整理(参加5人)
8月29日(木)	木曜グループ	「おすすめ新聞美術記事」第193号作成
9月4日(水)	合同作業	令和元年2月分記事整理(参加4人)
9月25日(水)	死亡記事整理	(参加4人)
9月28日(土)	土曜グループ	「おすすめ新聞美術記事」第194号作成
10月3日(木)	合同作業	令和元年3月分記事整理(参加7人)
10月31日(木)	死亡記事整理	(参加4人)

11月9日(土)	合同作業	令和元年4月分記事整理(参加3人)
11月30日(土)	死亡記事整理	(参加3人)
12月2日(月)	合同作業	令和元年5月分記事整理(参加5人)
12月9日(月)	月曜グループ「おすすめ新聞美術記事」	第195号作成
12月23日(月)	死亡記事整理	(参加2人)

令和2年		
1月21日(火)	合同作業	令和元年6月分記事整理(参加6人)
2月4日(火)	死亡記事整理	(参加4人)
2月5日(水)	合同作業	令和元年7月分記事整理(参加4人)
2月18日(火)	火曜グループ「おすすめ新聞美術記事」	第196号作成
2月26日(水)	死亡記事整理	(参加4人)
※令和2年2月27日(木)以降、新型コロナウイルス感染症対策のため活動を休止した。		

■新規ボランティア グループ研修

新規の新聞情報ボランティアを対象に、切り抜きや保存の方法について下記の通り研修を実施した。
グループ研修参加新規ボランティア：29人(うち再応募9人)
第1回 令和2年1月11日(土)14:00～16:00
第2回 令和2年1月15日(水)14:00～16:00

図書整理ボランティア

【活動内容】

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

■作家資料整理

作家に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。
古くなった資料保存用の袋を新しいものに作り替える。

■広報誌整理

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

■雑誌記事整理

雑誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

■紀要・年報類の受入

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
資料を書架に配架する。

■パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。また、入力された情報が正しいかどうかチェックする。
所蔵している雑誌の情報をパソコンに入力する。

■新規受け入れ図書の点検・配架

新しく受け入れる図書の装備(登録番号、ラベル、蔵書印)を点検後、所定の位置に配架する。

■書架整理

配架している図書の場所を調整、移動、整理する。

■新規ボランティア グループ研修

新規図書整理ボランティアのため、取り扱う資料の整理方法等の研修を、下記の通り行った。第3回(2月29日のみ)と第4回については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、翌年度に延期。
グループ研修参加新規ボランティア：9人
第1回 令和2年2月7日(金)、8日(土)13:30～15:30
第2回 令和2年2月14日(金)、15日(土)13:30～15:30
第3回 令和2年2月21日(金)13:30～15:30、2月29日(土)13:30～15:00※翌年度に延期
第4回 令和2年3月5日(木)、7日(土)13:30～15:00※翌年度に延期

美術家情報整理ボランティア

【活動内容】

- ①美術家による活動についてのDM(ダイレクトメール)を内容別に分類し、作家名、展覧会(イベント)名、会期、会場名等の基本情報をデータベース化している。令和2年2月20日現在で24,009件のデータを入力済み。
- ②データ入力の済んだDMを整理し、作家名別、会場別に保管する。
- ③美術館リニューアルオープンに合わせて入力済みのデータを「地域美術家DM情報」として、美術情報コーナーの端末で検索できるようにした。

【活動日】

月～金曜日。各曜日で午前と午後の各班にて作業を行う。月に1度、曜日間をまたいだ共同作業日を設けて活動。

■令和元年度 共同作業日

7月3日(水)10:30-12:00
9月12日(木)10:30-12:00
11月15日(金)10:30-12:00
12月9日(月)10:30-12:00
3月3日(火)10:30-12:00※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

■新規ボランティア グループ研修

新規の美術家情報整理ボランティアに向けて、データベースへの入力作業および資料の整理分類保管についての研修を下記の日程で実施した。
グループ研修参加新規ボランティア：7人(うち再応募2人)
第1回 令和2年1月29日(水)、2月3日(月)10:30-12:00
第2回 令和2年2月5日(水)、2月9日(日)10:30-12:00
第3回 令和2年2月12日(水)10:30-12:00

出版物

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成30年度 福岡市美術館活動の記録	A4	39	平成31年12月27日

■展覧会図録

名称	規格	頁数	発行日
富野由悠季の世界	B5	416	—
ギュスターヴ・モロー サロメと宿命の女たち	A4	208	—
仙厓—小西コレクション	A4変形	80	令和元年10月1日
梅田哲也 うたの起源	A5	96	令和2年3月13日
大浮世絵展—歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演	A4変形	348	—
まぼろしの春画 国貞三源氏	A4	48	令和2年1月28日

■コレクション展リーフレット（近現代）

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
298	藤森静雄と『月映』の作家	B5	6	近現代美術室B	令和元年5月30日
299	福岡の現代美術、九州派以後	B5	6	近現代美術室B	令和元年8月27日
作品リスト	コレクションハイライト1	B5	2	近現代美術室A	令和元年10月30日
作品リスト	コレクションハイライト2	B5	4	近現代美術室C	令和元年10月30日
300	渡辺千尋	B5	4	近現代美術室B	令和2年1月17日
301	朝倉文夫・摂・響子	B5	4	近現代美術室B	令和2年1月17日

■コレクション展リーフレット（古美術）

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
田中丸コレクション 解説第6号	田中丸コレクション 唐津と高取	B5	4	古美術企画展示室	令和元年5月28日
227	松永耳庵の茶	B5	4	松永記念館室	令和元年5月28日
228	茶人の「好み」	B5	6	松永記念館室	令和元年7月30日
作品リスト	秋の名品展	B5	2	松永記念館室	令和元年10月1日
作品リスト	東光院のみほとけA	B5	2	東光院仏教美術室	令和元年12月2日
作品リスト	東光院のみほとけB	B5	2	東光院仏教美術室	令和元年12月17日
作品リスト	青と白の華やぎ—染付	B5	2	古美術企画展示室	令和元年12月3日
作品リスト	線のチカラ	B5	2	松永記念館室	令和元年12月3日
229	使う器／見る器	B5	4	古美術企画展示室	令和元年12月3日
作品リスト	近世絵画名品展	B5	2	古美術企画展示室	令和2年2月2日
作品リスト	茶道具の次第	B5	2	松永記念館室	令和2年2月2日
作品リスト	東光院のみほとけC	B5	2	東光院仏教美術室	令和2年3月17日

■研究紀要

名称	規格	頁数	発行日
福岡市美術館 研究紀要 第8号	A4	103	令和2年3月6日

■福岡市美術館 季刊誌 エスプラナード

No.	内容	規格	頁数	発行日
196	世界初!富野由悠季展／見てから読むか、読んでから見るか 大浦こころ《のびひろがっていく身体 14》[正路佐知子]／ミドコロドコ? 富野由悠季の世界[山口洋三]／長谷川派《韃靼人狩獵図屏風》[鬼本佳代子]／学芸員と、みてはなし 《コブウシ形土製品》[後藤恒]／あたらしく、かるやかな、美術館とのつきあいかたのすすめ[中山喜一朗]／広告／FEATURE 夏休み子ども美術館2019／LECTURE／CALENDAR／EVENT／おまけ美術館／ふくおか応援寄付／利用案内	B5 変形	12	令和元年7月1日
197	仙厓さんと! [宮田太樹]／見てから読むか、読んでから見るか 重要文化財 尾形乾山《花籠図》[後藤恒]／ミドコロドコ? ギュスターヴ・モロー展[忠あゆみ]／梅田哲也 うたの起源[正路佐知子]／学芸員と、みてはなし サルバドール・ダリ《ボルト・リガトの聖母》、ジョアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》[鬼本佳代子]／福岡市美術館、40歳になりました。[岩永悦子]／広告／FEATURE ファミリーDAY2019／LECTURE／CALENDAR／EVENT／おまけ美術館／ふくおか応援寄付／利用案内	B5 変形	12	令和元年10月1日
198	スター絵師、大集合／見てから読むか、読んでから見るか 朝倉文夫《墓守》[山口洋三]／大浮世絵展[後藤恒]／学芸員と、みてはなし 吉田博《日本アルプス十二題 剣山の朝》ほか[忠あゆみ]／来館者にインタビュー／REPORT 福岡市美術館開館40周年記念シンポジウム「インカ・ショニバレCBEのパブリックアートと福岡」[鬼本佳代子]／広告／FEATURE ファミリーDAY2019レポート、第6回いきヨウヨウ講座「自分色をつくる」／LECTURE／CALENDAR／EVENT／おまけ美術館／ふくおか応援寄付／利用案内	B5 変形	12	令和2年1月1日

三館連携・協力企画

ラグビーワールドカップ2019開催記念!

福岡アジア美術館・福岡市美術館・福岡市博物館三館連携企画「闘志をまとう」

内 容：ラグビーワールドカップ2019に合わせ、テーマに合致する展示を各館で開催するなどし、その折、PRコーナーなどを設けた。当館では、
「富野由悠季の世界―ガンダム、イデオン、そして今」会期中、1階ロビーにPRコーナーを設置した。
期 間：令和元年6月22日(土)～9月1日(日)
印 刷 物：B2ポスター

福岡城まるごとミュージアム2020

内 容：福岡城跡で開催される「さくらまつり」と連動し、当館所蔵のインカ・シヨニバレCBE《桜を放つ女性》を公開。また、多門櫓にて福岡
ゆかりの作家6人の作品展示やワークショップを行い、母里太兵衛邸長屋門では福岡県立香椎工業高校の生徒が制作した鎧兜を
展示。
会 期：令和2年3月27日(金)～4月5日(日)
場 所：福岡城跡(舞鶴公園)・福岡市美術館
開場時間：10:00～17:00(入場は16:00まで)
※多聞櫓中庭会場のみ夜間開場(18:00～22:00)
入 場 料：無料 ※多聞櫓中庭会場のみ18:00以降は福岡城さくらまつりチケットが必要(別売り)
主 催：まるごとミュージアム実行委員会(福岡市、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団)
作 家：インカ・シヨニバレCBE・田部光子・牛島智子・オーギカナエ・澤登恭子・進藤環・田中千智・福岡県立香椎工業高校
印 刷 物：B2ポスター
A4チラシ
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

その他の連携企画

マーブリングはがきづくり～ご近所コラボwith 福岡市美術館&福岡市科学館

内 容：NHK福岡放送局および福岡市科学館との連携企画として、博多どんたく期間中に共同でワークショップを開催。また、NHKにて、科
学館および当館に関連するクイズもパネルにて紹介した。
日 時：令和元年5月4日(土・祝) 1回目14:30～15:30 2回目16:00～17:00
場 所：NHK福岡放送局 よかビジョンホール
参加人数：83人
主 催：NHK福岡放送局

「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた 博物館マネジメント人材育成事業実行委員会との共催

九州産業大学の緒方泉教授が委員長を務める同委員会と共催し、連続講座「2025年問題に向けた高齢者の健康と博物館の役割 美術館
de園芸療法」および学芸員技術研修会「博物館教育」を実施した。
主 催：「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会

①連続講座「2025年問題に向けた高齢者の健康と博物館の役割 第3回美術館de園芸療法」

内 容：千葉大学准教授岩崎寛氏による園芸療法の紹介と、それを活かした地域ケアについての講義とワークショップを行った。

日 時：令和元年10月27日(日)10:00～17:00
場 所：1階アートスタジオおよび大濠公園
参加人数：20人

②学芸員技術研修会「博物館教育」

内 容：宮城県美術館の元教育普及部長・齋正弘氏による、「美術館で教育普及をすること」を考えるワークショップを行った。
日 時：令和元年11月18日(月)10:00～17:00
場 所：1階アートスタジオ およびコレクション展示室
参加人数：23人

協力事業

G20特別公開 円山応挙《竹鶴・若松図屏風》

内 容：令和元年6月8日(土)に、国主催でG20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議の「夕食会」が、当館にて開催された。その際に展示さ
れた円山応挙《竹鶴・若松図屏風》を特別公開。
期 間：令和元年6月18日(火)～7月15日(月・祝)
会 場：2階近現代美術室A

大学の授業等への協力

当館学芸員によるレクチャーを行った。

西南学院大学児童教育学科

日 時：令和元年6月26日(水)9:30～10:30
参加人数：学生49人 引率2人

西南学院大学文学部外国語学科フランス語専攻

日 時：令和元年11月6日(水)10:30～13:30
参加人数：学生19人 引率1人

九州大学芸術工学部

日 時：令和元年11月14日(木)、15日(金)14:00～
参加人数：11月14日 学生30人 引率1人
11月15日 学生25人 引率1人

NPO WingWing「こども記者講座」への協力

内 容：NPO WingWingが実施する子どもたちに取材体験をしてもらうという講座に協力をした。
期 間：平成31年4月2日(火)13:00～13:40
取材対応：中山喜一郎(福岡市美術館長)
場 所：1階レクチャールーム
参 加 者：12人

直方谷尾美術館「子どもスタッフ会議」への協力

内 容：直方谷尾美術館で毎年開催している子どもたちによる展覧会企画「子どもスタッフ会議」に協力し、会議場所を提供するとともにコレ
クション展を当館学芸員が案内した。
日 時：令和元年6月22日(土)10:00～16:30
場 所：1階アートスタジオおよびコレクション展示室
参 加 者：14人(小中学生6人、高校生1人、引率7人)

We Love 天神「天神まち歩き」への協力

内 容：まち歩きガイドによる歴史探訪の一環として毎年実施されている同企画に協力。親子参加で、当館の「どこでも美術館」教材《ヤセ犬》を使つての鑑賞・制作活動を行った。その後展示室にて対話型ツアーによる作品鑑賞を実施した。

日 時：令和元年8月20日(火) 10:00～12:00

場 所：1階アートスタジオおよびコレクション展示室

参加人数：15人

主 催：We Love 天神協議会

「秋の種2019 花の歌が聴こえる時代に」プレイベント「秋の種まきツアー」への協力

内 容：令和元年11月に開催されたkonya-gallery、EUREKA、ギャラリー港民館の3つのギャラリーの共同企画展「秋の種2019 花の歌が聴こえる時代に」のプレイベント「秋の種まきツアー」に協力。同ツアーは、当館を起点に3ギャラリーを巡り、福岡アジア美術館で終了というものであったが、当館では2階近現代美術室Bにて、担当学芸員がギャラリートークを行った。

日 時：令和元年10月13日(日) 13:30～14:10(当館滞在時間)

場 所：1階アートスタジオ 2階近現代美術室B

参加人数：10人

主 催：秋の種企画委員会

キャリア教育「夢授業」への協力

内 容：福岡市立城西中学校にて実施された、生徒たちがさまざまな職業人と出会う企画キャリア教育「夢授業」へ、当館学芸員2名を派遣した。

日 時：令和元年11月28日(木) 12:45～16:20

場 所：福岡市立城西中学校体育館

対 象：1年生255人

中学校交流ワークショップ「抽象から具象へ」への協力

内 容：福岡市内中学校の美術教員と連携し、中学校の美術部生徒のためのワークショップを行った。中学校教員の交流と生徒たちが学校を越えて交流することを目的とする。内容は、生徒たちが作品鑑賞後、その体験をもとに共同で絵画制作をするというものであった。

日 時：令和2年1月26日(日) 9:30～16:30

場 所：1階アートスタジオおよびコレクション展示室

参加人数：26人

主 催：交流ワークショップの会

全国美術館会議 第53回教育普及研究部会会合への協力

内 容：全国美術館会議の研究部会の一つ、教育普及部会の会合を当館で開催。会場提供および展覧会観覧料の減免など協力を行った。

日 時：令和2年2月20日(木) 14:00～17:35、2月21日(金) 10:00～12:00

場 所：1階アートスタジオ

参加人数：35人

主 催：全国美術館会議 教育普及研究部会

紀要の発行

令和元年度、福岡市美術館において「福岡市美術館 研究紀要 第8号」を発行した。
内容は以下の通りである。

題目	執筆者
エジプトに渡ったアジュラック技法の蓮華文様インド更紗について	岩永 悦子
公刊『月映』発表作品における藤森静雄の身体描写	忠 あゆみ
ラファエル・コラン《海辺にて》をめぐる一考察 ―光学調査による技法分析を中心に	田口 かおり
キャプションは利用者と作品をつなぐ： 美術館リニューアルオープンにおける新しいキャプション製作の事例	崎田 明香
【報告文】アウトリーチ活動 「どこでも美術館」の教材「版画ボックス」制作について	上野 真歩
【資料紹介】満州の甲斐巳八郎 雑誌『協和』掲載挿絵・執筆記事 ⑤	中山 喜一郎
『雲中庵茶会記』翻刻稿 ④	後藤 恒

館外調査

日時	目的	訪問先	日数	担当	関連する事業
令和元年5月20日(月) ～5月24日(金)	藤田嗣治関連の染織品についての調査	Musée de la Toile de Jouy, La Maison-atelier Foujita	5日間	岩永 悦子	令和2年度開催予定特別展
令和元年10月15日(火) ～10月23日(水)	ニューヨークの美術館・博物館における高齢者プログラムについての調査	The Met Cloisters、Whitney Museum of American Art、The Intrepid Sea, Air & Space Museum、Rubin Museum of Art、American Folk Art Museum、Arts & Minds	8日間	鬼本 佳代子	九州産業大学地域共創学部との共同研究 2019年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」採択事業

美術資料

令和元年度は近現代美術作品49点、古美術作品24件を収集した。

近現代美術

所蔵品番号順

寄贈(49点)

No.	種別	所蔵番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	備品受入番号
1	油彩画	3-A-416	リサ・ミルロイ	黒 Black	2012	油彩・画布	134.8×194.4	43110276
2	油彩画	3-A-417	リサ・ミルロイ	白 White	2012	油彩・画布	135.7×195.0	43110277
3	その他	3-K-1	リサ・ミルロイ	格子柄のドレス Plaid Dress	2019	アクリル顔料、ポリエステル、ファスナー	105.0×50.0	43110278
4	その他	3-K-2	リサ・ミルロイ	筆跡模様のドレス Brush Marks Dress	2019	アクリル顔料、ポリエステル、ファスナー	105.0×51.5	43110279
5	日本画	1-B-234	甲斐 巳八郎	題不詳(クチイ)	1970年代	資本着色	72.5×48.0	43110280
6	日本画	1-B-235	甲斐 巳八郎	題不詳(らくだ)	1970年代	墨・紙	36.5×46.4	43110281
7	日本画	1-B-236	甲斐 巳八郎	題不詳(鍋ン平)	1970年代	墨・紙	23.0×31.8	43110282
8	日本画	1-B-237	甲斐 巳八郎	題不詳(街並み)	不詳	資本着色	57.9×45.8	43110283
9	日本画	1-B-238	甲斐 巳八郎	題不詳(黄色い花)	不詳	資本着色	25.9×32.1	43110284
10	日本画	1-B-239	甲斐 巳八郎	題不詳(三日月と風景)	不詳	墨・紙	37.2×27.8	43110285
11	油彩画	1-A-688	加呂 昌太郎	地平線のある	1974	油彩・画布	130.3×162.1	43110286
12	油彩画	1-A-689	竹内 晟	セロを弾く女	1964	油彩・画布	161.9×130.6	43110287
13	油彩画	1-A-690	寺田 健一郎	作品61・11	1961	油彩・板	73.0×50.0	43110288
14	油彩画	1-A-691	山本 文彦	空の見える部屋B	1968	油彩・画布	162.3×130.5	43110289
15	油彩画	1-A-692	田中 睦子	村	1968	油彩・画布	130.5×162.5	43110290
16	油彩画	1-A-693	浜田 宏	視覚の映像B	1970	油彩・画布	162.0×130.5	43110291
17	油彩画	1-A-694	木戸 征郎	崩れる	1971	油彩・画布	162.3×130.6	43110292
18	油彩画	1-A-695	北原 悌二郎	むつごろたち	1972年頃	油彩・画布	120.2×151.0	43110293
19	油彩画	1-A-696	生田 義広	青い部屋	1973	油彩・画布	162.2×130.1	43110294
20	油彩画	1-A-697	大森 キミ子	ACCIDENT (I)、(II)	1974	油彩・画布	I: 80.0×116.7, II: 80.0×117.0	43110295
21	油彩画	1-A-698	船本 寛	無言歌	1975	油彩・画布	162.3×130.2	43110296
22	油彩画	1-A-699	屋並 哲男	「女のシリーズ」より 赤い椅子	1976	油彩・画布	130.4×162.2	43110297
23	油彩画	1-A-700	仙頭 利通	動くコンポジションI浮遊、II浮遊	1977	油彩・画布	I: 162.2×130.0, II: 162.5×130.8	43110298
24	油彩画	1-A-701	滝口 文吾	営みの仮面、塚	1978	油彩・画布	営みの仮面: 161.7×130.4, 塚: 161.7×130.3	43110299
25	油彩画	1-A-702	結城 靖夫	奏紋	1979	油彩・画布	162.0×130.3	43110300
26	油彩画	1-A-703	宮之原 光一郎	焼却炉	1980	油彩・画布	130.3×162.1	43110301
27	油彩画	1-A-704	宮崎 大治郎	思念(A)	1981	油彩・画布	130.6×162.3	43110302
28	油彩画	1-A-705	鳥飼 寿徳	木馬「A」	1982	油彩・画布	130.3×161.6	43110303
29	油彩画	1-A-706	永淵 純一	化石A	1983	油彩・画布	112.5×162.5	43110304
30	油彩画	1-A-707	弥富 節子	シャッフルII	1984	油彩・画布	145.6×112.3	43110305
31	油彩画	1-A-708	濱田 隆志	タラゴナの思い出B(スペイン)	1984	油彩・画布	162.5×163.0	43110306
32	油彩画	1-A-709	藤本 徹雄	失音のモニュメント(I)(II)(III)	1986	油彩・画布	I: 162.0×92.9, II: 162.0×92.6, III: 161.5×92.5	43110307
33	油彩画	1-A-710	平井 順枝	西の旅から	1987	油彩・画布	130.6×162.0	43110308
34	油彩画	1-A-711	松永 一夫	宝島に行くにはどうしたらいいの でしょうか	1988	油彩・画布	104.4×133.2	43110309
35	油彩画	1-A-712	小田 善郎	漂う(No.4)	1989	油彩・画布	162.0×130.6	43110310
36	油彩画	1-A-713	下平 武敏	旅芸人の唄	1990	油彩・画布	130.5×162.0	43110311
37	油彩画	1-A-714	宮永 叶子	逃避A	1991	油彩・画布	130.6×162.2	43110312
38	油彩画	1-A-715	池末 満	片隅の風景	1992	油彩・画布	130.5×162.3	43110313

No.	種別	所蔵番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	備品受入番号
39	油彩画	1-A-716	上田 貞子	Face B	1993	油彩・画布	162.6×162.6	43110314
40	油彩画	1-A-717	園田 ゆかり	これから 94-2	1994	油彩・画布	162.1×161.6	43110315
41	油彩画	1-A-718	大沢 奨	構築と破壊のむこう	1995	油彩・画布	160.4×162.0	43110316
42	油彩画	1-A-719	山崎 哲一郎	地質時代(進化の証跡)	1996	油彩・画布	162.3×162.0	43110317
43	油彩画	1-A-720	長谷部 惟光	道のある風景	1997	油彩・画布	162.0×162.5	43110318
44	油彩画	1-A-721	富永 真理子	作品 '98-5	1998	油彩・画布	161.8×130.1	43110319
45	油彩画	1-A-722	向坂 万基子	饒舌なテーブル	1999	油彩・画布	130.2×162.0	43110320
46	油彩画	1-A-723	稲毛 健蔵	地動説	2000	油彩・画布	161.7×161.8	43110321
47	油彩画	1-A-724	重村 幹夫	変容―祭壇	2001	油彩・画布	162.0×162.3	43110322
48	油彩画	1-A-725	松永 潤二	未完の日	2002	油彩・画布	162.0×130.2	43110323
49	油彩画	1-A-726	川添 千鶴子	街の一隅	2003	油彩・画布	162.5×162.2	43110324

古美術

所蔵品番号順、研究資料は末尾に記載

購入(5件)

No.	種別	所蔵番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量	備品受入番号
1	染織	14-Hd-312	インド	グリーンシン文様更紗	18世紀後期	木綿	縦273 横90	43111110
2	染織	14-Hd-391	インドネシア	小花文様ジャワ更紗腰布	19―20世紀	木綿	緯106.2 経249.1	43110166
3	染織	14-Hd-392	ヨーロッパ	花文様ヨーロッパ更紗間着	19―20世紀	木綿	身丈 130.7	43110167
4	染織	14-Hd-393	ヨーロッパ	小花文様ヨーロッパ更紗間着	19―20世紀	木綿	身丈 134	43110168
5	染織	14-Hd-394	ヨーロッパ	小花文様ヨーロッパ更紗羽織	19―20世紀	木綿	身丈 94.5	43110169

寄贈(19件)

No.	種別	所蔵番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量	備品受入番号
1	絵画	14-B-75	歌川国貞 (1786―1864)	正寫相生源氏	江戸時代	紙本 木版多色摺	縦26.2 横20.0	43110233
2	染織	14-Hd-395	ヨーロッパ	小花文様ヨーロッパ更紗長着	19―20世紀	木綿	身丈 131.3	43110232
3	染織	14-Hd-396	タン・リンニオ	青色小花文様刺繍クバヤ (ブラウス)	20世紀	化学繊維	丈79.8 総幅131.5	43110234
4	染織	14-Hd-397	タン・リンニオ	花文様刺繍クバヤ(ブラウス)	20世紀	化学繊維	丈79.8 総幅131.5	43110235
5	染織	14-Hd-398	フリスコ社	ユーロ通貨文様スーパーワックス (VLA0149.075)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦120.7 横548.6	43110236
6	染織	14-Hd-399	フリスコ社	薔薇文様ワックス (VLA2328.004)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦120.0 横548.6	43110237
7	染織	14-Hd-400	フリスコ社	葡萄文様ワックス (VL01029.003)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦120.4 横548.6	43110238
8	染織	14-Hd-401	フリスコ社	蕾文様ワックス (VLS1JJ6.003)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦121.1 横548.6	43110239
9	染織	14-Hd-402	フリスコ社	ベイズリー文様ワックス (VLS0847.020)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦119.6 横548.6	43110240
10	染織	14-Hd-403	フリスコ社	自転車文様ワックス (VLS6UA6.016)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦121.1 横365.7	43110241
11	染織	14-Hd-404	フリスコ社	封筒文様ワックス (VLA0783.032)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦120.8 横548.6	43110242
12	染織	14-Hd-405	フリスコ社	山水文様ワックス (VLA2120.006)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦121.5 横548.6	43110243
13	染織	14-Hd-406	フリスコ社	燕文様ワックス (VL0H524.224)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦119.9 横365.7	43110244
14	染織	14-Hd-407	フリスコ社	団華文様ワックス (VL08141.001)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦120.1 横548.6	43110245
15	染織	14-Hd-408	フリスコ社	光線文様ワックス (VL7300.004)	2019年以前	木綿・機械捺染	縦122.0 横548.6	43110246
16	資料	研究資料	中国・越州窯系	青磁深鉢	唐時代	磁器	口径14.5 高さ7.5 高台径6.4	43110247
17	資料	研究資料	ベトナム	灰釉鉢	9世紀か	陶器	口径16.1 高さ5.6 高台径6.5	43110248
18	資料	研究資料	ベトナム	灰釉碗	9世紀か	陶器	口径11.5 高さ7.2 高台径4.3	43110249
19	資料	研究資料	タイ・ベトナム	タイ・ベトナム 陶磁器片	14―19世紀	陶磁器		43110250

図書・映像資料

図書

単位(冊)			
		和書	洋書
購入	図書	26	5
	図録	0	3
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	83	15
	図録	487	28
	年報・紀要	211	0
製本資料		0	0
雑誌		281	90
合計		1,088	141
総計		1,229	

映像資料

単位(点)		
購入	CD	0
	DVD	0
寄贈	CD	0
	DVD	0
合計		0

修 復

近現代美術

種別	所蔵品番号	作家名	作品名	寸法 (cm)	制作年	素材・技法	数量
絵画	3-A-406	A.R.ベンク	シュタンダルト3	272.2×283.2	1974	アクリル・綿布	1
絵画	1-A-150	南風原 朝光	静物	90.6×72.0	1942	油彩・画布	1
絵画	1-A-560	河津 嘉三	らんぶのある静物A	73.1×91.5	1952	油彩・画布	1

古美術

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量 (cm)	制作年	品質	数量
彫刻	6-G-6		増長天立像	総高58.3 像高49.2	鎌倉時代 13世紀	木造(桧材)漆箔	1躯
彫刻	6-G-7		風神像	総高69.0 像高59.6	鎌倉時代 14世紀	木造(桧材)彩色	1躯
彫刻	6-G-9		男神像	像高39.1	平安時代 12世紀	木造(桧材)彩色	1躯
絵画	6-B-1	伝・梁楷	鶏骨図	縦78.1 横31.4	元時代 14世紀	紙本墨画	1幅
絵画	6-B-34	伝・俵屋宗達	月に竹薦図屏風	縦154.3 横363.4	江戸時代 17世紀	紙本金地着色	6曲1隻
絵画	24-B-4	仙厓義梵	布袋図	縦93.4 横33.6	江戸時代 文化10年(1813)	紙本墨画	1幅
絵画	24-B-19	仙厓義梵	いろは弁図	縦100.4 横28.1	江戸時代 文政2年(1819)	紙本墨画	1幅

貸 出

近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	坂本 繁二郎	大島の一部	1-A-43	没後50年 坂本繁二郎展	久留米市美術館	平成31年4月6日～ 令和元年6月9日
油彩等	坂本 繁二郎	鮭	1-A-44		練馬区立美術館	令和元年7月14日～9月16日
油彩等	藤野 一友	木の精	2-A-87	美少女の美術史： 浮世絵から現代美術、そして漫画、アニメまで	国立台北教育大学 北師美術館	令和元年8月24日～11月24日
油彩等	長谷川 昇	裸婦	7-A-47			
日本画	堅山 南風	雅日	1-B-77			
日本画	川辺 御楯	官女図	1-B-149			
日本画	上村 松園	清少納言図	7-B-5			
日本画	鐔木 清方	夕立	7-B-9			
日本画	鐔木 清方	あさみどり	7-B-10			
日本画	伊東 深水	春雪	2-B-16			
版画	伊東 深水	現代美人集 第二輯 十五夜	2-E-348			
版画	伊東 深水	現代美人集 第二輯 舞妓	2-E-352			
版画	小早川 清	近代時世粧ノ内 四 瞳	1-E-341			
版画	小早川 清	近代時世粧ノ内 五 黒髪	1-E-342			
版画	吉田 博	京都三條大橋	1-E-117			
版画	吉田 博	鏡之前	1-E-114			
版画	浜口 陽三	少女	7-E-1			
版画	浜口 陽三	若い女	7-E-6			
油彩等	ジャン＝ミシェル・バスキア	無題	3-A-179	バスキア展 メイド・イン・ジャパン	森アートセンター	令和元年9月20日～11月17日

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	萩谷 巖	魚の静物	1-A-190	没後40年 萩谷巖展	朝倉市秋月博物館	令和元年10月5日～12月8日
油彩等	萩谷 巖	静物	1-A-191			
油彩等	萩谷 巖	花のいろいろ	1-A-192			
油彩等	萩谷 巖	セーヌの朝霞	7-A-44			
油彩等	萩谷 巖	李朝の壺二つ	7-A-45			
油彩等	萩谷 巖	花瓶と花	7-A-46			
版画	吉田 博	雨後の穂高山	1-E-112	没後70年 吉田博展	河口湖美術館	令和元年 10月26日～12月22日
油彩等	マーク・ロスコ	無題	3-A-30	窓展：窓をめぐる アートと建築の旅	東京国立近代美術館	令和元年 11月1日～令和2年2月2日
油彩等	桂 ゆき	積んだり	1-A-173	アカルイ カテイ	広島市現代美術館	令和元年 12月21日～令和2年3月1日
油彩等	桂 ゆき	作品	1-A-174			
油彩等	白髪 一雄	煬帝	2-A-58	白髪一雄展	東京オベランティ アートギャラリー	令和2年1月11日～3月22日
油彩等	白髪 一雄	丹赤	2-A-59			
油彩等	赤星 孝	婦人像	1-A-219	赤星孝と 赤星信子展	福岡県立美術館	令和2年2月1日～3月8日
油彩等	赤星 孝	扉	1-A-220			
油彩等	赤星 孝	しし	1-A-221			
油彩等	赤星 信子	ルバシカの女	1-A-368			
油彩等	ルイ＝ジョゼフ＝ ラファエル・コラン	若い娘	3-A-2	生誕150年 小林千古と白馬会	はつかいち美術ギャラ リー	令和2年2月14日～3月22日

古美術

種別	産地(作者)	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
金工		王子形水瓶	6-Hc-6	「生誕150年・没後80 年記念 原三溪の美術－美術品は共有性ノ 物－」	横浜美術館	令和元年 7月13日(土)～9月1日(日)
絵画重文		地獄草紙断簡・勘当の鬼	6-B-12			
絵画重文		病草紙・肥満の女	6-B-13			
絵画	伝・鑑貞	秋景山水図	6-B-28			
絵画重美	宮本武蔵	布袋見聞鶏図	6-B-29			
其他重文		童鎧残欠	6-Hf-32	特別展「侍」 －もののふの美の系譜－ The Exhibition of SAMURAI	福岡市博物館	令和元年 9月7日(土)～11月4日(月・休)
漆工重文		波文螺鈿鞍	4-Hb-197			
刀剣重文		太刀 銘「一」 拵附	6-He-31			
金工		火縄銃(烏天狗図金象嵌)	4-Hc-186			
金工		火縄銃(不動明王像金象嵌)	4-Hc-187			
金工		火縄銃(「春山」銘金象嵌)	4-Hc-188			
染織		赤地雲龍文様錦袴	4-Hd-204			
染織		紺緞子地牡丹鳳凰文様袴	4-Hd-205			
染織		藍地牡丹文様錦袴	4-Hd-206			
染織		金襴軍袍(亀甲地文牡丹唐 草金襴)	4-Hd-181			
染織		着背長(小札の陣羽織)	4-Hd-180			
染織		永楽通宝の陣羽織	4-Hd-184			
漆工		梨子地三葉葵紋截金鞍	4-Hb-164			
絵画	伝・牧谿	杜子美図	6-B-5	第38回特別展 「大分の禪」	大分市歴史資料館	令和元年 9月27日(金)～11月4日(月・ 休)
絵画	仙厓義梵	円相図	12-B-11			
絵画	仙厓義梵	釈迦三尊図	9-B-25	「ZENGA 白隠と仙厓展」	佐川美術館	令和元年 10月1日(火)～12月1日(日)
絵画	仙厓義梵	子孫繁昌図	9-B-24			
絵画	仙厓義梵	不動明王図	14-B-52			
絵画	仙厓義梵	猿田彦大明神図	9-B-22			
絵画	仙厓義梵	時鳥唐傘図	9-B-42			
絵画	仙厓義梵	老子図	9-B-68			

種別	産地(作者)	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
絵画	仙厓義梵	牛馬図	9-B-16	「ZENGA 白隠と仙厓展」	佐川美術館	令和元年 10月1日(火)～12月1日(日)
絵画	仙厓義梵	布袋図	9-B-62			
絵画	仙厓義梵	観世音菩薩像	9-B-14			
絵画	仙厓義梵	文殊師利菩薩像	9-B-65			
絵画	仙厓義梵	不動明王像	9-B-4			
絵画	仙厓義梵	恵比寿図	9-B-8			
絵画	仙厓義梵	寿老人図	9-B-26			
絵画	仙厓義梵	朱描鍾馗図	14-B-49			
絵画	仙厓義梵	太宰府天神図	9-B-35			
絵画	仙厓義梵	神農図	14-B-53			
絵画	仙厓義梵	福女鬼女図	7-B-111			
絵画	仙厓義梵	天狗図	9-B-40			
絵画	仙厓義梵	河童図	12-B-21			
絵画	仙厓義梵	裁松道者図	12-B-13			
絵画	仙厓義梵	臨済裁松図	14-B-62			
絵画	仙厓義梵	南泉斬猫図	9-B-48			
絵画	仙厓義梵	渦仰問答図	12-B-15			
絵画	仙厓義梵	猪頭和尚図	7-B-110			
絵画	仙厓義梵	寒山拾得図	9-B-13			
絵画	仙厓義梵	十六羅漢図	14-B-51			
絵画	仙厓義梵	栄西禅師像	9-B-1			
絵画	仙厓義梵	大燈国師像	12-B-14			
絵画	仙厓義梵	利休居士像	11-B-5			
絵画	仙厓義梵	老人六歌仙図	14-B-56			
絵画	仙厓義梵	仙厓曼荼羅図	14-B-21			
絵画	仙厓義梵	髑髏図	9-B-43			
絵画	仙厓義梵	托鉢図	14-B-4			
絵画	仙厓義梵	松離子図	12-B-16			
絵画	仙厓義梵	尾上心七早変わり図	14-B-5			
絵画	仙厓義梵	農耕図	9-B-50			
絵画	仙厓義梵	猫に紙袋図	9-B-49			
絵画	仙厓義梵	猿図	9-B-21			
絵画	仙厓義梵	臥牛図	14-B-3			
彫刻	仙厓義梵	大黒天像	9-G-1			
陶磁	長次郎	黒楽茶碗 銘「次郎坊」	6-Ha-62	もののふと茶の湯 －利休から織部・忠興・ 康之へ－	八代市立博物館未来 の森ミュージアム特別 展示室・第2常設展 示室	令和元年 10月25日(金)～12月1日(日)
陶磁	上野焼 釜ノ口窯	上野割山椒形向付	6-Ha-110			
陶磁重文	野々村仁清	色絵吉野山図茶壺	6-Ha-50	リニューアル記念特別展 「仁清 金と銀」	MOA美術館	令和元年11月1日(金)～12月8 日(日)

広報事業

ホームページとSNSの運用

美術館の概要や展示、イベント等をホームページで紹介するほか、SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム）を活用した情報発信を積極的に行った。

- 福岡市美術館ホームページ <https://www.fukuoka-art-museum.jp/>
- 福岡市美術館ツイッター https://twitter.com/fukuoka_fam
- 福岡市美術館フェイスブック <https://www.facebook.com/fukuokaartmuseum/>

令和元年度ホームページ閲覧数、SNSフォロワー数			
ホームページ閲覧数	ツイッター フォロワー数	フェイスブック フォロワー数	インスタグラム フォロワー数
2,655,825	4,423人	4,878人	3,386人

プレスリリースなどによる広報

テレビ、新聞、美術出版社、タウン情報誌等の各種メディアに対してプレスリリースを配信。観覧者誘致に向けた取り組みを行う。
各種メディアへの情報提供延べ件数／8,960件

イベントの実施

緑溢れる大濠公園に位置する当館の魅力を最大限に活用し、多くの市民や観光客が楽しめるミュージアムイベントを年間を通じて実施し、美術以外の入口からも美術館を訪れる人々の賑わいを創出。今年度は、コンサートを始め、落語会や夜市などを催しを実施した。

実施事業		実施日	会場	参加人数
フラメンコスペシャルライブ in ミュージアム	コンサート	令和元年7月6日(土)	ミュージアムホール	167人
千年夜市 in ナイトミュージアム	夜市	令和元年8月30日(金)～8月31日(土)	エスプラナード	延べ3,200人
特別展ギュスターヴ・モロー展 開催記念 WINE SALON	ワイン会	令和元年9月25(水)	レストラン	14人
ソーゾーシーTOUR 2019 in 福岡	落語会	令和元年10月14日(月・祝)	ミュージアムホール	180人
九州交響楽団メンバーによる 弦楽五重奏+福岡のアーティスト 「クリスマスコンサート」	コンサート	令和元年12月7日(土)	ミュージアムホール	156人
万能グローブガラバゴスダイナモス「甘い手」	演劇	令和2年2月12日(水)～2月16日(日)	ミュージアムホール	延べ901人

福岡市美術館開館40周年記念シンポジウム
「インカ・ショニバレCBEのパブリックアートと福岡」

リニューアルオープン時に開催した「インカ・ショニバレCBE :Flower Power」展。インカ・ショニバレ氏の大型屋外彫刻作品《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》が、当館40周年と福岡市制施行130周年を記念してアプローチ広場に設置されることになり、この作品を題材にパブリックアートについてのシンポジウムを開催した。パブリックアートが地域や都市に与える影響について各地の事例を交えつつ、その意味と意義を紐解き、福岡という都市の持つ魅力と可能性、この地にある福岡市美術館の未来についてパネルディスカッションを行った。

日 時：令和元年11月30日(土)14:00～16:30

場 所：福岡市美術館ミュージアムホール

出演者：荒木夏実(東京藝術大学准教授)、山出淳也(BEPPU PROJECT代表理事、アーティスト)、岩永悦子(福岡市美術館学芸課長)

ファシリテーター：三好剛平(伊藤総研株式会社)

参加者：149人

撮影等の受け入れ

美術館では、映像を通じて福岡の魅力を発信することを目的に一定条件のもとで本年度2件のロケ撮影を受け入れを行った。

内 容：番組収録1件、ドラマ撮影1件

主な撮影場所：エスプラナード、アプローチ広場

カフェ・レストラン

1階と2階には、ホテルニューオータニ博多が運営するカフェ「アクアム」と、レストラン「プルヌス」があり、特別展開催期間中は、特別展コラボメニューの提供も行っている。

カフェ「アクアム」

アプローチ広場横にあるガラス張りのカフェでは、きらめく水面を眺めながら軽食やドリンクを楽しめる。朝食にぴったりのパンやコーヒー、サンドウィッチ等のランチメニュー、ケーキやソフトクリーム、アルコールやオードブルを取りそろえ、時間帯や目的によってお好みのアイテムを選択できる。

営業時間／9：00～19：00(ラストオーダー18：30)
※7月～10月の金・土曜日は9：00～20：00
(ラストオーダー19：30)

席数／58席



レストラン「プルヌス」

当館で最も眺めのいい位置にあるレストランでは、大濠公園やエスプラナードを一望できる。地元食材を使った料理を中心に、和食・洋食のランチ、夕日や夜景とともに味わうワイン、週末限定のランチ等多彩なメニューを提供。また、展覧会とのコラボレーションメニューも実施している。

営業時間／平 日 11：00～20：30(ラストオーダー19：30)
土・日・祝 9：30～20：30(ラストオーダー19：30)

席数／84席



ミュージアムショップ

1階エントランスロビーにあるミュージアムショップでは、当館の所蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズやレプリカをはじめ、展覧会図録、地元クリエイターによるグッズ、高取焼や博多織、博多人形などの伝統工芸品などを販売。福岡を訪れた記念や贈り物におすすめの商品も取りそろえる。

営業時間／9：30～17：30
※7月～10月の金・土曜日は9：30～20：00

オリジナル商品

博多人形工房の中村人形が制作・監修した気軽に人形の絵付け体験が楽しめる素焼きの博多人形《MASTER ROAD》、博多人形師の小副川太郎氏監修の福岡市美術館所蔵品モチーフの福かぶり猫《仙厓の虎図・フジタの猫》の他、当館のマスコットで開館以来、着実にファンを増やしている《こぶうしくん》グッズなどを取り扱う。

認定商品/95点、33品目(令和2年3月末)



展示室

4月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	火
特別展示室																																
ギャラリーA																																
ギャラリーB																																
ギャラリーC																																
ギャラリーD																																
ギャラリーE																																
ギャラリーF																																

5月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							
	曜	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金							
特別展示室																																							
ギャラリーA																																							
ギャラリーB	福岡市美術館 リニューアルオープン 記念展								福岡市美術館 リニューアルオープン 記念展								福岡市美術館 リニューアルオープン 記念展								福岡市美術館 リニューアルオープン 記念展														
ギャラリーC	これが私たちの コレクション+ インカシヨニバレCBE Flower Power (3/21～5/26)								これが私たちの コレクション+ インカシヨニバレ CBE Flower Power (3/21～5/26)								これが私たちの コレクション+ インカシヨニバレCBE Flower Power (3/21～5/26)								これが私たちの コレクション+ インカシヨニバレCBE Flower Power (3/21～5/26)								撤去						
ギャラリーD																																							
ギャラリーE																																							
ギャラリーF																																							

6月

室名	日 曜	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日
特別展示室																															
ギャラリーA																															
ギャラリーB																															
ギャラリーC			撤去																												
ギャラリーD																															
ギャラリーE																															
ギャラリーF																															

7月

室名	日 曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月・祝	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水		
特別展示室		富野由悠季の世界 (6/22-9/1)								富野由悠季の世界 (6/22-9/1)								富野由悠季の世界 (6/22-9/1)								富野由悠季の世界 (6/22-9/1)							富野 由悠季の 世界	第33 回日洋展 九州会場 福岡
ギャラリーA		Kohei Yoshii Exhibition アクリル画約55点 観覧者数：597人								秒読みの街(風景回廊・その6) —澤野森都写真展 写真約55点 観覧者数：622人								シボリコミュニティ福岡 第19回作品展「藍と絞り」 藍染め絞りのタペストリー・テキスタイル約40点 観覧者数：453人								SEIEN写真倶楽部 作品展 写真約30点 観覧者数：685人								
ギャラリーB		第12回 九州地区 多摩美術大学校友会展 絵画、陶芸等約230点 観覧者数：623人								阿部絵画教室 彩友会 油絵、水彩画約120点 観覧者数：815人								ZO-TAN51展 九州産業大学造形 短期大学部の 仲間たち 絵画、デザイン、工芸、 写真等約200点 観覧者数：619人								— みづたまの会 水彩画展 水彩画約50点 観覧者数：706人 第11回 昭和フォト サークル 写真展 写真約30点 観覧者数：611人 湯木清光彫刻展 オブジェ彫刻等約10点 観覧者数：430人 ベンジャミン・クレーム リトグラフ展 「現代のマンダラ」 リトグラフ等約20点 観覧者数：639人								
ギャラリーC																																		
ギャラリーD																																		
ギャラリーE																																		
ギャラリーF		第2回遊遊結人福岡写真展 写真約35点 観覧者数：581人								坂本かな個展 水彩、パステル画 約30点 観覧者数：667人								高瀬竜二展 油彩画約30点 観覧者数：298人																
		第10回 82AP展 写真約65点 観覧者数：546人								—								鳥石展—石の孤独を 越えて、沈黙を越えて 伝統工芸の硯と現代工芸の水差約20点 観覧者数：434人																

8月

室名	日 曜	1 木	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日・祝	12 月・祝	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土
特別展示室																																
ギャラリーA																																
ギャラリーB																																
ギャラリーC																																
ギャラリーD																																
ギャラリーE																																
ギャラリーF																																

9月

室名	日 曜	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日・祝	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日・祝	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月
特別展示室																															
ギャラリーA																															
ギャラリーB																															
ギャラリーC																															
ギャラリーD																															
ギャラリーE																															
ギャラリーF																															

10月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日	月	火・祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
特別展示室	ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)							ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)							ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)							ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)							ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)						
ギャラリーA	第16回 九大美術会展 油彩画、水彩画等約65点 観覧者数：809人							第10回 IZUMI展 油彩、水彩画約75点 観覧者数：842人							手描き染め生徒作品展 ハンカチ、タペストリー 等約200点 観覧者数：599人							久高良治展 探求10 石膏プリント、写真等 約30点 観覧者数：1,221人							ももちパレス 土曜洋画教室 第26回 エルサバド展						
ギャラリーB	五行歌25年～ 言葉でひらく未来巡回展							武蔵野美術大学校友会 福岡支部展 絵画、彫刻等約70点 観覧者数：855人							第49回福岡市 高齢者美術展 洋画・日本画・書・写真・ 工芸約125点 観覧者数：911人							第6回 慎思会書作家展 書作品約95点 観覧者数：1,508人							冬真・真央・芯 作品展 「自由の街」						
ギャラリーC	「五行歌」作品を写真などと コラボした作品約100点 観覧者数：691人																												第15回 ぶらり鞆ベンの会 作品展						
ギャラリーD	進藤和子八十路回顧展 水墨画、墨彩画約50点 観覧者数：692人							第6回 豊彩会 水彩画等約50点 観覧者数：744人							ポーセリンアート ブルーム教室展 絵皿(白磁絵付け)約315点 観覧者数：652人							レインボー 油彩、水彩、パステ ル約25点 観覧者数：918人							池田櫻書道会 福岡社中展						
ギャラリーE	馬場武尚個展 油絵、オブジェ作品約360点 観覧者数：687人																												Art Group RUSH 第三回展覧会 RUSH03 油絵、水彩画、 アクリル画等約80点 観覧者数：1,206人						
ギャラリーF	傘寿記念 鈴田 浩 染色展 〈自然をみつめて50余年〉 染色工芸作品約30点 観覧者数：986人							「岳と花」北アルプス 山岳写真展 写真、水彩画約50点 観覧者数：980人							第12回 生展 写真約15点 観覧者数：696人																				

11月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
	曜	金	土	日・祝	月・祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土・祝	日	月	火	水	木	金	土				
特別展示室	ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)					ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)						ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)						ギュスターヴ・モロー展 (10/1-11/24)						撤去			準備								
ギャラリーA	ももちパレス 土曜洋画教室 第26回エルサバド展 油絵約40点 観覧者数：901人					第22回石耀展 書作品約40点 観覧者数：764人						第24回 福岡市美術連盟展 日本画、絵画、写真、工芸等 約190点 観覧者数：1,586人						第40回中央区 市民文化祭美術作品展 洋画、日本画、書、写真等 約360点 観覧者数：1,358人						第50回福岡市医師会 文化祭美術展 絵画、写真、陶芸等約40点 観覧者数：616人											
ギャラリーB	冬真・真央・芯 作品展「自由の街」 絵、写真、イラスト等約350点 観覧者数：839人					第21回日中友好 書画交流会 墨彩画、書等約85点 観覧者数：578人																		第16回 姚明中国水墨画 書道研究会展 水墨画約90点 観覧者数：802人											
ギャラリーC	第15回 ぶらり鞆ペンの 会作品展 鞆ペン画約150点 観覧者数：1,220人																													第16回 壳岐公民館 絵画教室展 油絵、水彩画、日本画約 30点 観覧者数：550人					
ギャラリーD																																			
ギャラリーE	池田櫻書道会 福岡社中展 書作品約70点 観覧者数：2,000人					日比野桂子展 油彩画、水彩画約30点 観覧者数：1,019人						第47回日本画玄霜会展 日本画約35点 観覧者数：1,173人						櫛晃弘「巨樹」写真展 写真約35点 観覧者数：1,516人																	
ギャラリーF	準備	梅田哲也 うたの起源				梅田哲也 うたの起源																													

12月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																																		
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火																																		
特別展示室	準備	不思議の国のアリス展 (12/3-1/19)								不思議の国のアリス展 (12/3-1/19)								不思議の国のアリス展 (12/3-1/19)								不思議の国のアリス展 (12/3-1/19)								年末年始休館																																
ギャラリーA	第50回 福岡市医師会文化祭美術展	第39回南区美術展 絵画、彫刻、書、写真、工芸 約185点 観覧者数：910人								第35回 城南区市民アート展 絵画、グラフィックデザイン、 書、写真、工芸約185点 観覧者数：700人								写真クラブ「絆」会員展 写真約40点 観覧者数：652人								—																																								
ギャラリーB	第16回 姚明中国水墨画書道研究会展																	第39回南区美術展 絵画、彫刻、書、写真、工芸 約185点 観覧者数：910人								第35回 城南区市民アート展 絵画、グラフィックデザイン、 書、写真、工芸約185点 観覧者数：700人									ハワイアンキルト作品展 ～南国のクリスマスキルト～ ハワイアンキルト約90点 観覧者数：565人								—																							
ギャラリーC																																			第39回南区美術展 絵画、彫刻、書、写真、工芸 約185点 観覧者数：910人								第35回 城南区市民アート展 絵画、グラフィックデザイン、 書、写真、工芸約185点 観覧者数：700人								第42回 西日本版画協会展 版画約35点 観覧者数：747人								—							
ギャラリーD																																																			第39回南区美術展 絵画、彫刻、書、写真、工芸 約185点 観覧者数：910人								第35回 城南区市民アート展 絵画、グラフィックデザイン、 書、写真、工芸約185点 観覧者数：700人							
ギャラリーE	苓岐公民館 絵画教室展	福岡よかよか倶楽部 写真展 写真約35点 観覧者数：655人								福岡大学書道部展 書作品約35点 観覧者数：328人																																																								
ギャラリーF	榊見弘 「巨樹」 写真展	第54回游展 油彩画、水彩画約80点 観覧者数：829人								日本サインデザイン賞パネル展 日本サインデザイン賞受賞 作品の写真パネル約35点 観覧者数：289人								伊東映子「アフリカ 15ヶ国紀行」写真展 写真約160点 観覧者数：919人								—																																								

1月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31									
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金									
特別展示室						不思議の国のアリス展 (12/3-1/19)			不思議の国のアリス展 (12/3-1/19)							不思議の国のアリス展 (12/3-1/19)								撤去	準備				大浮世絵展 (1/28-3/22)												
ギャラリーA						—			九州産業大学芸術学部 写真・映像メディア学科 百瀬ゼミナール写真展 VISION～交錯する視線～ 写真等約205点 観覧者数：644人							—							CHO,Il-hyun Solo Exhibition [Emotional Factory] デジタルデザイン作品約30点 観覧者数：926人			ファインアート展 福岡市中学校特別 支援学級の生徒 作品約1,000点 観覧者数：1,680人															
ギャラリーB					—																																第68回福岡市中学校 書作品展 生徒書作品約630点 観覧者数：814人				
ギャラリーC					—																																				
ギャラリーD					—																																				
ギャラリーE					—																																				
ギャラリーF					—																																				

2月

[illegible]

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2月27日～3月20日まで臨時休館

3月

室名	日曜	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金祝	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	31火			
特別展示室	臨時休館																																		
																																	大浮世絵展 (1/28-3/22)	撤去	準備
ギャラリーA																																	—	第4回薫園書友の会作品展 書作品約190点 観覧者数：387人	
ギャラリーB																																	—	博多織デベロッパメント カレッジ卒業作品展 博多織の帯、着物等約70点 観覧者数：440人	
ギャラリーC																																	—		
ギャラリーD																																	—		
ギャラリーE																																	—	Kiitosの世界展 油絵、写真、ネイルアートチップ 約180点 観覧者数：421人	
ギャラリーF	—																																		

洋画、彫刻、工芸の入賞・入選作品を展示

第51回福岡市美術展（前期）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2月27日～3月20日まで臨時休館

ミュージアムホール等

	ミュージアムホール		アートスタジオ		レクチャールーム		アプローチ広場		ロビー		エスプラナード		合計	
	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数
4月	8	748	11	130	6	22	4	250	0	0	4	75	33	1,225
5月	5	380	3	157	8	256	0	0	0	0	0	0	16	793
6月	5	514	4	101	11	142	0	0	0	0	0	0	20	757
7月	4	462	6	279	14	297	0	0	0	0	0	0	24	1,038
8月	5	583	5	124	13	290	0	0	0	0	2	3,200	25	4,197
9月	4	592	7	222	8	121	0	0	0	0	0	0	19	935
10月	13	1,394	12	461	16	450	0	0	0	0	0	0	41	2,305
11月	13	1,436	13	547	25	981	4	1,120	0	0	0	0	55	4,084
12月	12	1,369	13	470	16	426	0	0	0	0	1	30	42	2,295
1月	7	816	18	490	18	368	0	0	2	0	0	0	45	1,674
2月	13	1,201	20	642	15	365	0	0	3	40	0	0	51	2,248
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	89	9,495	112	3,623	150	3,718	8	1,370	5	40	7	3,305	371	21,551

※令和2年2月27日～3月20日は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館

※ロビー利用者数について、令和2年1月2件及び2月2件の利用は展示のため利用人数はカウントせず、利用者数に含めない。

令和元年度月別観覧者数

室名	コレクション展		特別展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催延べ日数(日)	観覧者数(人)
4月	26	36,503	26	22,965	—	—	26	59,468
5月	27	49,519	23	30,397	—	—	27	79,916
6月	25	9,842	8	4,602	84	15,369	117	29,813
7月	26	10,708	26	10,676	97	10,044	149	31,428
8月	27	13,139	27	17,783	115	12,420	169	43,342
9月	25	8,815	1	1,519	92	20,427	118	30,761
10月	27	19,626	27	17,630	114	16,693	168	53,949
11月	26	20,173	21	21,548	69	12,557	116	54,278
12月	23	8,693	22	12,061	70	7,894	115	28,648
1月	23	10,725	17	16,332	65	9,500	105	36,557
2月	22	11,261	22	17,811	42	3,463	86	32,535
3月	9	2,327	2	3,225	20	1,442	31	6,994
合計	286	201,331	222	176,549	768	109,809	1,227	487,689

※令和2年2月27日～3月20日は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館

※リニューアルオープン記念展(3/21-5/26)は、コレクション展と特別展をひとつの展覧会として開催

※4、5月のコレクション展観覧者数はリニューアルオープン記念展期間中のコレクション展示室、ギャラリー展示観覧者を含む

収集審査員

50音順・敬称略・肩書きは令和元年度のもの
※は特別収集審査員

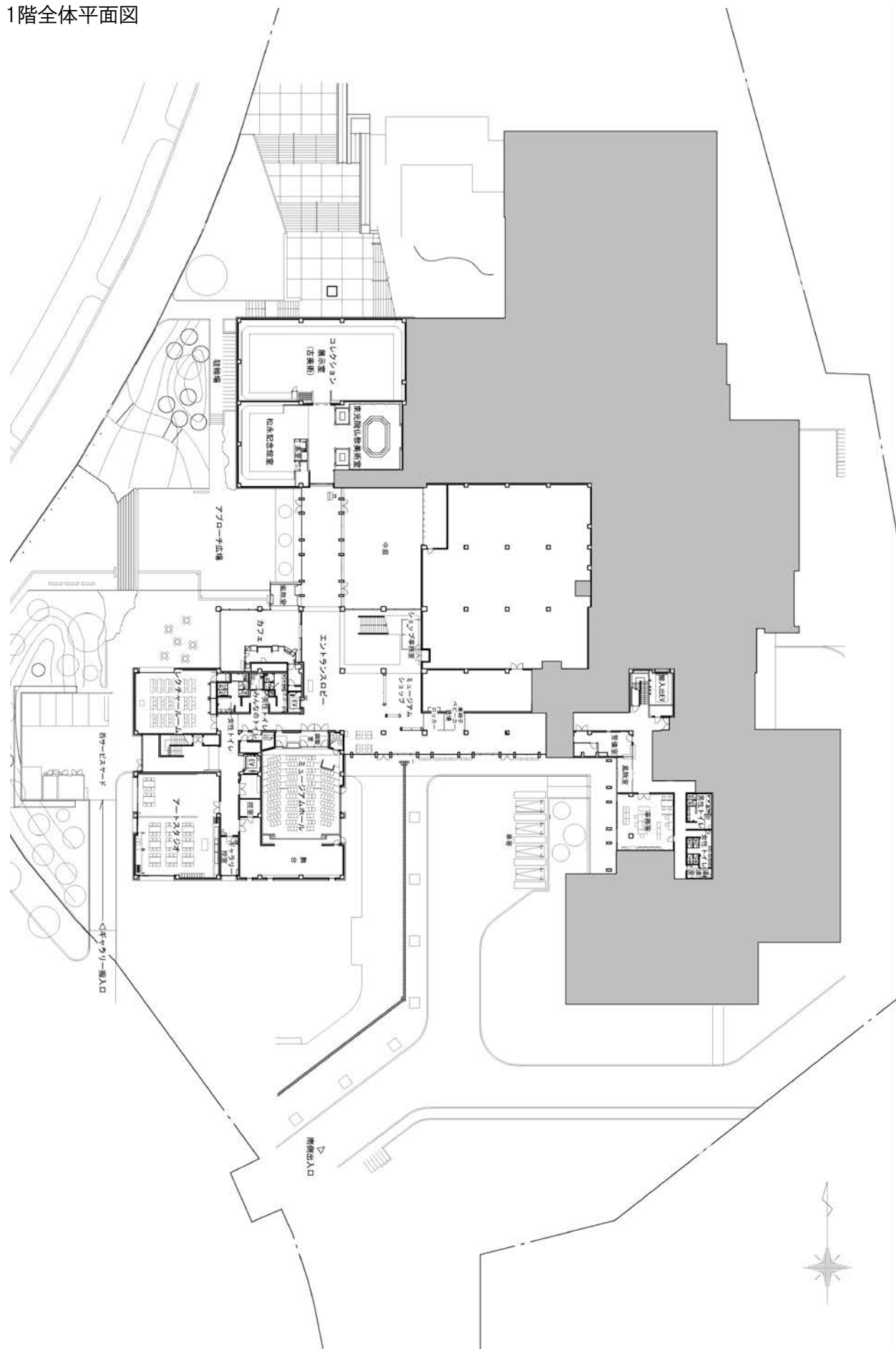
近現代美術	魚里 洋一	福岡県立美術館副館長兼学芸課長
	逢坂 恵理子	国立新美術館館長
	尾崎 信一郎	鳥取県立博物館副館長兼美術振興課長
	西村 勇晴	北九州市立美術館館長
古美術	※石田 泰弘	元八代市博物館館長
	植野 かおり	立花家史料館館長
	原田 あゆみ	九州国立博物館学芸部文化財課長

職員

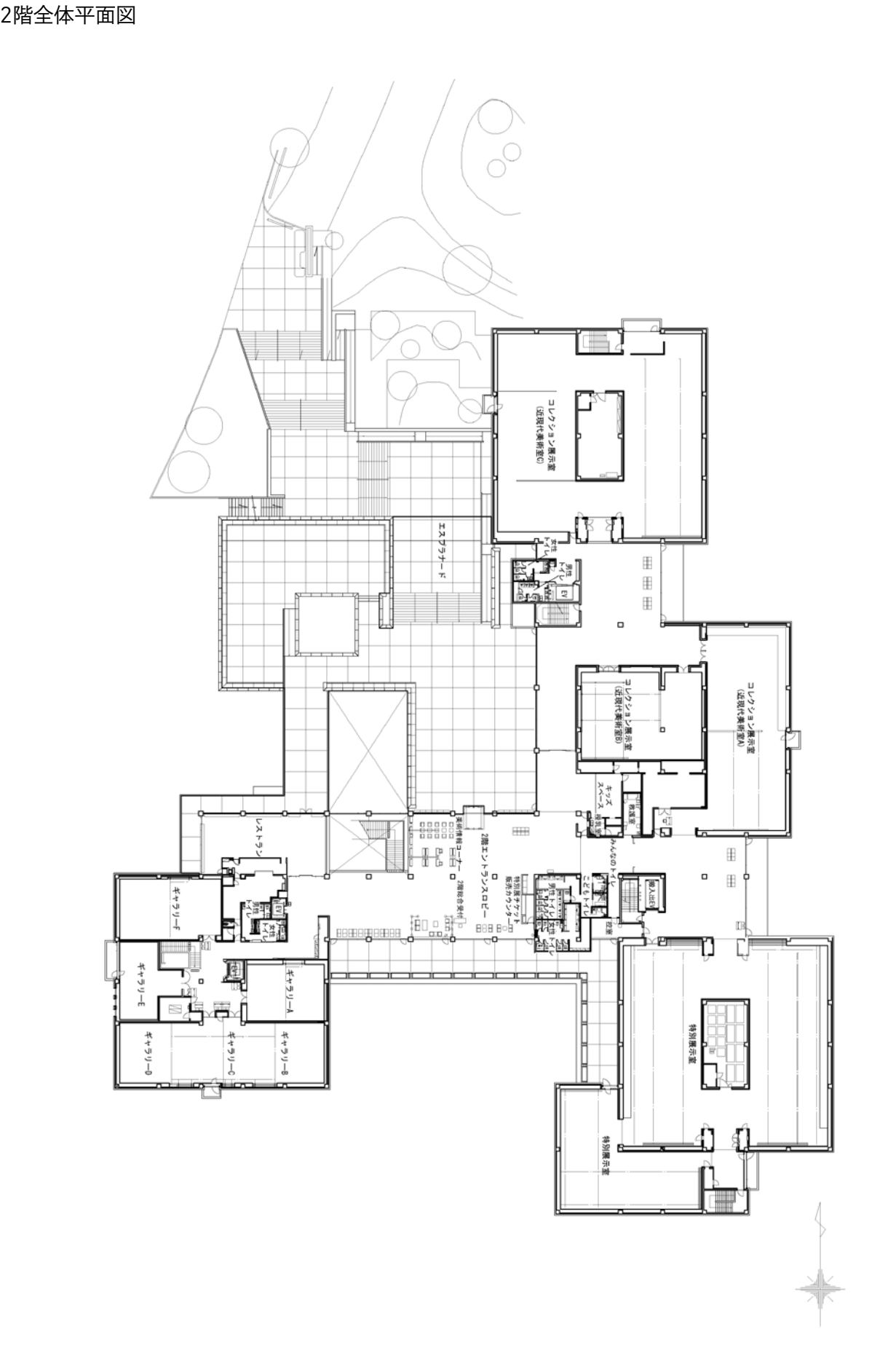
館長	中山 喜一郎
美術館運営部長	谷口 恭二
事業管理課長	古賀 有子
事業管理係長	高木 啓
	田中 孝典
	鍋嶋 淳史
学芸課長	岩永 悦子
学芸係長	山口 洋三
	正路 佐知子
	渡抜 由季
	忠 あゆみ
主任学芸主事	鬼本 佳代子
	崎田 明香
主任学芸主事	後藤 恒
	宮田 太樹
嘱託員	徳永 昭夫
嘱託員	中務 美紀
嘱託員	中原 千代子(令和元年6月1日から)
嘱託員	上野 真歩

資料

福岡市美術館
1階全体平面図



福岡市美術館
2階全体平面図



施設概要

1. 建築概要

所在地	福岡県福岡市中央区大濠公園 1 番 6 号
設計	〔新築〕 前川國男建築設計事務所 〔改修〕 福岡アートミュージアムパートナーズ(株) (㈱粹設計)
施工	〔新築〕 戸田建設(株)ほか 〔改修〕 福岡アートミュージアムパートナーズ(株) (㈱大林組)
工期	〔新築〕 1978 (昭和53)年 1 月～ 1979 (昭和54)年 10 月 〔改修〕 2017 (平成29)年 6 月～ 2018 (平成30)年 9 月
敷地面積	25,845.71㎡
建築面積	8,639.28㎡
延床面積	14,713.66㎡ (本館14,630.38㎡)
各階面積	1 階：8,271.82㎡ (付属棟含む) 2 階：6,242.24㎡ 屋上階：199.60㎡
最高高さ	15.00m
主体構造	鉄筋コンクリート造
主要な外部仕上げ	外壁：磁器質タイル打ち込みPC板 屋根：耐候性鋼板/瓦棒葺き/フッ素樹脂塗装 床：器室タイル

主要施設

■展示室
東光院仏教美術室（1 階）
古美術企画展示室（1 階）
松永記念館室（1 階）
近現代美術室 A（2 階）
近現代美術室 B（2 階）
近現代美術室 C（2 階）
特別展示室（2 階）床面積：1,054㎡、有効展示壁面長：327m、 天井高：5 m・3.9m
ギャラリー A（2 階）床面積：100㎡、有効展示壁面長：51.12m、 天井高：4 m
ギャラリー B（2 階）床面積：78.5㎡、有効展示壁面長：40.78m、 天井高：4 m
ギャラリー C（2 階）床面積：110㎡、有効展示壁面長：39.98m、 天井高：4 m
ギャラリー D（2 階）床面積：81㎡、有効展示壁面長：41.18m、 天井高：4 m
ギャラリー E（2 階）床面積：82㎡、有効展示壁面長：40.79m、 天井高：4 m
ギャラリー F（2 階）床面積：139㎡、有効展示壁面長：61.17m、 天井高：4 m

■その他施設
ミュージアムホール（1 階）
面積：288.2㎡
定員：180席・車椅子席 2 席
付帯：ホール控室、音響機器、照明設備
用途：講演会、上映会、演劇、コンサートなど

アートスタジオ（1 階）
面積：209.82㎡
天井高：3 m
定員：72席（6 人掛け工作台 12台）
付帯：流し台、大型鏡、可動壁
用途：ワークショップ、パフォーマンス、レクチャー、トーク ショーなど
レクチャールーム（1 階）
面積：124.95㎡
天井高：3 m
定員：54席（スクール形式 3 人掛け）、長机 18 台
付帯：スクリーン、流し台、音響機器
用途：講座、研修、ワークショップなど

関連法規

○福岡市美術館条例

	昭和54年 3 月 8 日 条例第38号
改正	昭和59年 3 月29日条例第41号 平成元年 3 月31日条例第34号 平成 7 年 3 月 9 日条例第44号 平成10年10月 1 日条例第47号 平成14年 3 月28日条例第38号 平成24年 3 月29日条例第38号 平成30年 3 月29日条例第40号

（設置）
第 1 条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、福岡市美術館（以下「美術館」という。）を福岡市中央区大濠公園に設置する。
（事業）
第 2 条 美術館は、次の各号に掲げる事業を行う。 （1）美術作品その他の美術に関する資料（以下「美術作品等」という。）を収集し、保管し及び展示すること。 （2）美術に関する調査及び研究を行うこと。 （3）美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催し及びその奨励を行うこと。 （4）施設の利用に関すること。 （5）前各号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的達成に必要なこと。
（職員）
第 3 条 美術館に館長その他必要な職員を置く。
（観覧料）
第 4 条 美術館が主催して展示する美術作品等を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。（利用の許可）
第 5 条 美術館の施設（別表第 2 に掲げるものに限る。）を専用的に利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「許可利用者」という。）が、許可を受けた事項を変更しようとするときもまた同様とする。
2 教育委員会は、前項の許可に際して、美術館の管理上必要な条件を付すことができる。 （平成30条例40・一部改正）
（利用の制限）
第 6 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、美術館の利用を拒み、又は前条に規定する許可をせず、若しくは既にした許可を取り消すことができる。 （1）利用者（利用しようとする者を含む。以下本条において同じ。）が美術館の設置の目的に反する利用をし、又はそのおそれがあるとき。 （2）利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反し、又はそのおそれがあるとき。 （3）前 2 号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があると認められるとき。
2 前項の措置によつて利用者が損害を受けても、本市はその責めを負わない。 （入館の制限）

第 7 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。 （1）他人に迷惑をかけ、若しくは展示品又は施設設備等を損傷するおそれがあると認められるもの （2）管理上の指示又は指導に従わないもの （3）管理上支障があると認められるもの （利用する権利の譲渡等の禁止）
第 8 条 許可利用者は、美術館を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。 （平成30条例40・一部改正）
（特別な設備）

第 9 条 許可利用者は、美術館に特別な設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、教育委員会が特に認めたときは、この限りでない。
2 教育委員会は、管理上必要があると認めるときは、許可利用者の負担において特別な設備をさせることができる。
3 前 2 項に規定する設備は、利用許可期限満了前に許可利用者の負担において撤去し、原状に復さなければならない。
4 許可利用者が前項に規定する撤去を行わないときは、教育委員会がこれを行い、その費用を許可利用者から徴収する。 （平成30条例40・一部改正）

（使用料）
第10条 次の各号に掲げる者からは、当該各号に定める額の使用料を徴収する。 （1）許可利用者 別表第 2 に定める額の使用料 （2）駐車場を利用する者 別表第 3 に定める額の駐車場使用料
2 前項第 1 号の使用料は、前納とする。
3 第 1 項第 2 号の駐車場使用料は、駐車場を利用した者が出庫するときに徴収する。 （平成30条例40・一部改正）
（撮影等の許可及び手数料）
第11条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は所蔵されている美術作品等の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
2 前項に規定する許可を受けた者からは、 1 点 1 回につき2,200円 の範囲内で教育委員会規則で定める額の手数料を徴収する。 （平成 7 条例44・一部改正）

（観覧料等の不還付）
第12条 既納の観覧料、使用料及び手数料（以下「観覧料等」という。）は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合は、その全部又は一部を還付することができる。（観覧料等の減免）
第13条 教育委員会は、特別の理由があると認める場合は、観覧料等を減免することができる。（利用者の管理義務）
第14条 利用者は、利用期間中その利用に係る美術館の施設、付属設備及び図書資料等を善良な管理者の注意をもつて管理しなければならない。（損害賠償）
第15条 利用者が、美術館の施設、付属施設、展示品又は図書資料等を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。（立入り）
第16条 許可利用者は、美術館の管理の業務に従事する者が職務のため当該利用に係る施設に立ち入ろうとするときは、これを拒むことができない。 （平成30条例40・一部改正）
（美術館協議会）
第17条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条の規定により、

- 美術館に美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
- 2 協議会は、美術館及び福岡アジア美術館条例（平成10年福岡市条例第47号）により設置された福岡アジア美術館の運営に関し、それぞれの館長の諮問に応じるとともに、これらの館長に対して意見を述べるものとする。
- 3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。
- 4 協議会の委員の定数は、20人以内とする。
- 5 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

（平成10条例47・平成24条例38・一部改正）

（委任）

第18条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

- 附 則
- （施行期日）
- 1 この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。
- （昭和54年教規則第11号により昭和54年11月3日から施行）
- （福岡市美術館条例の廃止）
- 2 福岡市美術館条例（昭和53年福岡市条例第37号）は、廃止する。
- （施行日前における許可等）
- 3 第1項の規定に基づく教育委員会規則が公布されたときは、この条例の施行の日前においても、この条例の施行の日以後の美術館の利用について教育委員会規則で定めるところにより利用の許可をし、及び使用料を徴収することができる。
- 附 則（昭和59年3月29日条例第41号）
- （施行期日）
- 1 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。

- 附 則（平成元年3月31日条例第34号）
- （施行期日）
- 1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
- 附 則（平成7年3月9日条例第44号）
- （施行期日）

- 1 この条例は、平成7年5月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
- 附 則（平成10年10月1日条例第47号）抄
- （施行期日）
- 1 この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

- （平成10年教委規則第7号により平成11年1月1日から施行）
- 附 則（平成14年3月28日条例第38号）
- この条例は、平成14年4月1日から施行する。
- 附 則（平成24年3月29日条例第38号）
- この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- 附 則（平成30年3月29日条例第40号）
- （施行期日）
- 1 この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。
- （平成30年教委規則第14号により平成31年3月21日から施行）
- （施行日前における利用の許可等）
- 2 前項の規定に基づく教育委員会規則が公布されたときは、この条例の施行の日前においても、同日以後の美術館（この条例による改正後の福岡市美術館条例（以下「改正後の条例」という。）別表第2に掲げる施設に限る。）の利用について、改正後の条例の規定の例により許可をし、及び使用料を徴収することができる。
- 別表第1
- （平成元条例34・平成14条例38・一部改正）

美術作品等観覧料			
区分		金額	
		個人	20人以上の団体
常設展示観覧	一般	200円	1人につき 150円
	大学生・高校生	150円	1人につき 100円
特別展示観覧		1人につき2,000円以内で教育委員会が定める額	

- 備考
- 1 常設展示観覧とは、美術館が平常的に展示する美術作品等の観覧をいい、特別展示観覧とは、美術館が特別に展示する美術作品等の観覧をいう。
- 2 一般とは、大学生・高校生及び中学生以外の者で15歳以上のものをいい、大学生・高校生とは、大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、各種学校又はこれらに準ずるものに在学する者をいう。

別表第2

（昭和59条例41・平成元条例34・平成7条例44・平成30条例40・一部改正）

- 1 展示室使用料
- | 区分 | 単位 | 金額(円) |
|-------|----|--------|
| 特別展示室 | | 36,600 |
| ギャラリー | A | 3,700 |
| | B | 2,700 |
| | C | 3,700 |
| | D | 2,700 |
| | E | 2,700 |
| | F | 4,600 |
- 2 ホール等使用料
- | 区分 | 単位 | 金額(円) |
|-----------|--------|-------|
| レクチャールーム | 1時間につき | 1,100 |
| アートスタジオ | | 2,200 |
| ミュージアムホール | | 2,200 |
- 3 ロビー等使用料
- | 区分 | 単位 | 金額(円) |
|-----------|---------|-------|
| ロビー | 1日1平方 | 200 |
| エスプラナード | メートルにつき | 200 |
| アプローチスペース | | 200 |

- 備考
- 1 許可利用者が入館者から入場料を徴収する場合の使用料の額は、この表の金額の2倍の額とする。
- 2 使用料の算定に当たって用いる日数又は時間数に1日又は1時間未満の端数があるときは、当該端数をそれぞれ1日又は1時間とみなす。
- 3 ギャラリーB又はギャラリーDに係る許可利用者は、ギャラリーCの一部について第5条第1項の許可を受けることができるものとする。この場合において、ギャラリーCに係る使用料の額は、この表の金額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 4 付属設備の使用料の額は、教育委員会規則で定める。

別表第3

（平成30条例40・追加）

駐車場使用料		
区分	単位	金額(円)
普通自動車	1台1回につき	200
準中型自動車	1時間までごとに	200
中型自動車	1台1回につき	2,000
大型自動車	1日までごとに	2,000

備考 普通自動車とは道路交通法（昭和35年法律第105号）第3条に規定する普通自動車を、準中型自動車とは同条に規定する準中型自動車を、中型自動車とは同条に規定する中型自動車を、大型自動車とは同条に規定する大型自動車をいう。

○福岡市美術館条例施行規則

- 昭和54年7月2日
教育委員会規則第12号
- 改正 昭和59年3月31日教規則第3号
- 昭和61年3月31日教規則第2号
- 昭和63年3月31日教規則第15号
- 平成元年3月31日教規則第9号
- 平成3年3月28日教規則第7号
- 平成5年3月29日教規則第1号
- 平成5年3月29日教規則第8号
- 平成5年6月28日教規則第13号
- 平成6年3月31日教規則第13号
- 平成7年3月30日教規則第17号
- 平成8年3月28日教規則第7号
- 平成9年3月31日教規則第5号
- 平成12年3月30日教規則第1号
- 平成14年3月28日教規則第10号
- 平成14年7月1日教規則第12号
- 平成17年3月31日教規則第9号
- 平成17年7月14日教規則第12号
- 平成18年10月30日教規則第9号
- 平成19年3月29日教規則第8号
- 平成19年6月28日教規則第10号
- 平成22年3月29日教規則第2号
- 平成24年3月29日教規則第8号
- 平成27年10月8日教規則第18号
- 平成29年3月30日教規則第6号
- 平成30年3月29日教規則第5号
- 平成30年10月1日教規則第15号

- （趣旨）
- 第1条 この規則は、福岡市美術館条例（昭和54年福岡市条例第38号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第2条及び第3条 削除
- （平成24教規則8）
- （職員）
- 第4条 福岡市美術館（以下「美術館」という。）に館長及び学芸課長を置く。
- 2 前項の職員のほか、特に必要なときは、その他の職員を置くことができる。
- 3 館長及び学芸課長は、職員のうちから命じる。
- 4 館長は、上司の命を受けて、美術館の事務を統理し、所属職員を指揮監督する。
- 5 学芸課長は、上司の命を受けて、美術館の事務を掌理し、及び処理する。
- 6 その他の職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

- （平成24教規則8・全改）
- （職務権限の代行）
- 第5条 館長に事故がある場合又は館長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、学芸課長が館長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、教育次長の指揮を受けなければならない。
- 2 前項の規定により、館長の職務権限を代理して行う者がいないときは、館長の職務権限は、教育次長が行う。
- （平成24教規則8・一部改正）
- （開館時間）
- 第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時30分まで（毎年7月から10月までの間の各月の金曜日及び土曜日（以下「特

例日」という。)においては、午後8時まで)とする。ただし、入館は、午後5時まで(特例日においては、午後7時30分まで)とする。

2 次の各号に掲げる施設の供用時間は、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 条例別表第2 2 ホール等使用料の表に掲げる施設 午前9時30分から午後9時まで

(2) 駐車場 午前9時から午後9時まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育長が必要と認める場合は、開館時間又は前項第1号の施設の供用時間(以下「開館時間等」という。)を変更することができる。

(平成5教規則13・平成9教規則5・平成30教規則5・平成30教規則15・一部改正)

(休館日)

第7条 美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、教育長が必要と認める場合は、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(1) 毎週月曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日をいう。以下同じ。))に当たるときは、その日後において最初の休日でない日)

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

(平成9教規則5・平成17教規則9・平成30教規則15・一部改正)

(展示室等の利用)

第8条 条例第5条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、福岡市美術館施設利用許可申請書(様式第1号)により教育長に申請しなければならない。

2 前項の申請は、展示室については、利用しようとする日が1月1日から6月30日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日の属する年の前年の7月31日までに、7月1日から12月31日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日の属する年の1月31日までに行わなければならない。ただし、教育長が必要と認める場合は、この限りでない。

(平成30教規則5・一部改正)

(利用の許可)

第9条 教育長は、美術館の施設の利用を許可したときは、福岡市美術館施設利用許可書(様式第2号)を交付するものとする。

(利用の取止め)

第10条 美術館の施設の利用の許可を受けた者(以下「許可利用者」という。))が、利用の取止めをしようとする場合には、あらかじめ福岡市美術館施設利用取止め届(様式第3号)を教育長に提出しなければならない。

(平成30教規則5・一部改正)

(図書の利用)

第11条 美術館の図書の利用に関し必要な事項については、館長が別に定める。

(利用時間)

第12条 美術館の利用時間には、準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。

(開館時間等以外の利用)

第13条 美術館の開館時間等以外及び休館日の利用は、美術館の運営上支障がない場合にのみ許可する。

(平成30教規則5・一部改正)

(撮影等の許可)

第14条 条例第11条第1項の規定により美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。))の撮影、模写、模造等(以下「撮影等」という。))の許可を受けようとする者は、撮影等許可申請書(様式第4号)により館長に申請しなければならない。

2 館長は、前項の許可をしたときは、撮影等許可書(様式第5号)

を交付するものとする。

3 撮影等の許可は、観覧者の観覧に支障がなく、かつ、美術作品等の管理上支障がないと認められる場合にのみ許可するものとする。

(平成24教規則8・一部改正)

(入館者及び許可利用者の心得)

第15条 美術館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 建物、付属設備又は美術作品等その他の備品を汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 他の入館者に迷惑をかけないこと。

(3) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 許可なくして物品を販売し、又は展示しないこと。

(6) 館内を不潔にしないこと。

(7) 許可なくして美術作品等の撮影又は模写をしないこと。

(8) 施設、設備等の利用を終えたときは、これを原状に復すこと。

(9) 所定の場所以外に出入りしないこと。

(10) 前各号に掲げるもののほか、管理上の必要から美術館の管理の業務に従事する者が行う指示又は指導に従うこと。

2 許可利用者は、前項に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 収容人員は、当該施設の所定の人員を超えないこと。

(2) 条例第7条各号のいずれかに該当する者に対しては、当該施設への入場を拒絶し、又は退場を命ずること。

(3) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。

(4) 当該施設への入場者に前項に規定する事項を守らせること。

(平成30教規則5・一部改正)

(利用後の点検)

第16条 許可利用者は、施設、設備、備品等の使用を終わつたときは、美術館の管理の業務に従事する者の点検を受けなければならない。

(平成30教規則5・一部改正)

(付属設備の使用料)

第17条 美術館の付属設備の使用料の額は、別表第1のとおりとする。

(撮影等の手数料)

第18条 条例第11条第2項に規定する手数料の額は、別表第2のとおりとする。

(使用料及び手数料の徴収)

第19条 条例第10条第1項第1号の使用料は、利用の開始までに徴収する。

2 手数料は、撮影等の開始までに徴収する。

(平成6教規則13・平成30教規則5・一部改正)

第19条の2 駐車場を利用する者は、自動車を入庫させるときに、駐車券(様式第2号の2)の交付を受けなければならない。

2 駐車場を利用した者が自動車を出庫させるときは、前項の規定に基づき交付を受けた駐車券により、条例第10条第1項第2号の駐車場使用料(以下「駐車場使用料」という。))を清算しなければならない。

(平成30教規則5・追加)

(使用料の還付)

第20条 条例第12条ただし書の規定による使用料の還付は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 天災地変その他不可抗力により利用できなくなつたとき 全額

(2) 許可利用者(展示室の許可利用者を除く。))が利用日の10日

前までに利用取止め届を提出したとき 全額

(3) 許可利用者が利用日の5日前(展示室の許可利用者については3月前)までに利用取止め届を提出したとき 5割相当額

(平成30教規則5・一部改正)

(観覧料の減免)

第21条 条例第13条の規定による観覧料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 義務教育諸学校の児童又は生徒の引率者が当該義務教育諸学校の教育計画に基づき常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(2) 障がい者(療育手帳、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に規定する身体障害者手帳又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に規定する精神障害者保健福祉手帳(以下「療育手帳等」という。))の交付を受けている者をいう。以下同じ。))又は特定医療費(指定難病)受給者証、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(以下「医療受給者証等」という。))の交付を受けている者が常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(3) 障がい者の介護者が常設展示を観覧するとき 介護者1人の当該観覧料の全額

(4) 市内に居住する65歳以上の者が常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(5) 美術館の入館者が国民の祝日に関する法律第2条に規定する文化の日に常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額

2 前項第1号又は第6号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館観覧料減免申請書(様式第6号)により教育長に申請しなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

3 観覧料の減免を受けようとする者は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める書類を美術館の管理の業務に従事する者に提示しなければならない。

(1) 第1項第2号の規定により減免を受ける場合 療育手帳等又は医療受給者証等

(2) 第1項第4号の規定により減免を受ける場合 本市が発行するシルバー手帳又は官公署が発行する証明書等(本人の氏名、住所及び生年月日が記載されているものに限る。))

(昭和59教規則3・追加、昭和63教規則15・平成8教規則7・平成14教規則10・平成14教規則12・平成17教規則9・平成17教規則12・平成24教規則8・平成27教規則18・平成29教規則6・平成30教規則5・一部改正)

(使用料の減免)

第22条 条例第13条の規定による使用料(駐車場使用料を除く。))の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 本市が主催し、又は経費の一部を負担して共催する行事に利用するとき 全額

(2) 本市が経費の一部を負担して後援する行事に利用するとき 5割相当額

(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事に利用するとき 全額

(4) 18歳未満の者を主体とする団体が利用するとき 5割相当額

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額

2 前項の規定により使用料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館使用料減免申請書(様式第7号)により教育長に申請しなければならない。ただし、本市が主催する行事に利用する場合は、

この限りでない。

(昭和59教規則3・追加、平成30教規則5・一部改正)

(駐車場使用料の減免)

第22条の2 次に掲げる自動車に係る駐車場使用料は、全額を免除するものとする。

(1) 本市の公用自動車

(2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事のために利用する自動車

(3) 障がい者又は医療受給者証等の交付を受けている者が運転し、又は同乗する自動車

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認める自動車

2 前項第3号の規定により駐車場使用料の減免を受けようとする者は、療育手帳等又は医療受給者証等を美術館の管理の業務に従事する者に提示しなければならない。

(平成30教規則5・追加)

(美術館協議会の会長及び副会長)

第23条 条例第17条に規定する美術館協議会(以下「協議会」という。))に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(昭和59教規則3・旧第21条繰下)

(会議)

第24条 協議会の会議(以下「会議」という。))は、会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席議員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(昭和59教規則3・旧第22条繰下)

(委任)

第25条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

(昭和59教規則3・旧第23条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和54年11月3日から施行する。ただし、第3項の規定は、公布の日から施行する。

(福岡市美術館条例施行規則の廃止)

2 福岡市美術館条例施行規則(昭和53年福岡市教育委員会規則第14号)は、廃止する。

(施行日前における許可等)

3 条例附則第3項の規定による条例の施行の日における条例の施行の日以後の美術館の利用の許可及び使用料の徴収については、次の各号の定めるところによる。

(1) 美術館の施設の利用の許可については、条例第5条及び第6条並びにこの規則第8条第1項及び第9条の規定の例による。

(2) 使用料の徴収については、条例第4条、第10条、第12条及び第13条並びにこの規則第17条、第19条第1項及び第20条の規定の例による。

附 則(昭和59年3月31日教規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、この規則の施行の日(以下「施行日」という。))前に施行日以後の付属設備の利用又は美術作品等の撮影等について許可を受け、当該利用又は撮影等に係る使用料及び手数料を利用の開始又は撮影等の開始までに納付している者

の当該使用料及び手数料の額については、なお従前の例による。

附 則（昭和61年 3月31日教規則第 2号）
この規則は、昭和61年 4月 1日から施行する。

附 則（昭和63年 3月31日教規則第15号）
（施行期日）

1 この規則は、昭和63年 4月 1日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正後の福岡市立今宿野外活動センター条例施行規則第12条、福岡市立少年科学文化会館条例施行規則第15条の3及び福岡市美術館条例施行規則第21条第3項中「シルバー手帳」とあるのは、当分の間、「シルバー手帳若しくは老人福祉手帳」とする。

附 則（平成元年 3月31日教規則第 9号）
この規則は、平成元年 4月 1日から施行する。

附 則（平成 3年 3月28日教規則第 7号）
この規則は、平成 3年 4月 1日から施行する。

附 則（平成 5年 3月29日教規則第 1号）
この規則は、平成 5年 4月 1日から施行する。

附 則（平成 5年 3月29日教規則第 8号）
（施行期日）

1 この規則は、平成 5年 4月 1日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成 5年 6月28日教規則第13号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 6年 3月31日教規則第13号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 7年 3月30日教規則第17号）
（施行期日）

1 この規則は、平成 7年 4月 1日から施行する。ただし、別表第1及び別表第2の改正規定並びに次項の規定は、平成 7年 5月 1日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、平成 7年 5月 1日前に同日以後の付属設備の利用又は美術作品等の撮影等について許可を受け、当該利用に係る使用料又は撮影等に係る手数料を納付している者の当該使用料及び手数料の額については、なお従前の例による。

附 則（平成 8年 3月28日教規則第 7号）
この規則は、平成 8年 4月 1日から施行する。

附 則（平成 9年 3月31日教規則第 5号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成12年 3月30日教規則第 1号）
この規則は、平成12年 4月 1日から施行する。

附 則（平成14年 3月28日教規則第10号）
この規則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則（平成14年 7月 1日教規則第12号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年 3月31日教規則第 9号）
この規則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則（平成17年 7月14日教規則第12号）
（施行期日）

1 この規則は、平成17年 7月15日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成18年10月30日教規則第 9号）
この規則は、平成18年11月 1日から施行する。

附 則（平成19年 3月29日教規則第 8号）
この規則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則（平成19年 6月28日教規則第10号）
この規則は、平成19年 7月 1日から施行する。

附 則（平成22年 3月29日教規則第 2号）
この規則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則（平成24年 3月29日教規則第 8号）
この規則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則（平成27年10月 8日教規則第18号）
この規則は、平成27年11月 1日から施行する。

附 則（平成29年 3月30日教規則第 6号）
この規則は、平成29年 4月 1日から施行する。

附 則（平成30年 3月29日教規則第 5号）
（施行期日）

1 この規則は、福岡市美術館条例の一部を改正する条例（平成30年福岡市条例第40号）の施行の日から施行する。
（経過措置）

2 この規則による改正前の福岡市美術館条例施行規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成30年10月 1日教規則第15号）
（施行期日）

1 この規則は、平成31年 3月21日から施行する。
（施行日前における利用の許可等）

2 この規則の公布の日以後においては、この規則の施行の日前においても、同日以後の美術館の付属設備の利用について、この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則の規定の例により許可をし、及び使用料を徴収することができる。

別表第 1

（昭和59教規則 3・平成 7教規則17・平成30教規則15・一部改正）

付属設備使用料			
種別	区分	単位	金額(円)
展示設備	可動陳列ケース	1台1日	330
	スライド映写機	一式1時間	440
	8ミリ映写機	一式1時間	440
	16ミリ映写機	一式1時間	770
	プロジェクター	1台1時間	720
	書画カメラ	1台1時間	440
映写設備	ブルーレイプレイヤー	1台1時間	200
	スポットライト	一式1時間	220
	マイクロホン	一式1時間	220
	メモリーオーディオプレイヤー	1台1時間	200

備考 付属設備の使用時間に 1 時間未満の端数があるときは、これを切り上げる。

別表第 2

（昭和59教規則 3・平成 7教規則 17・一部改正）

撮影等手数料				
区分			金額(円)	備考
撮影	モノクローム	A	220	Aは学術研究を目的とする場合、Bは学術研究以外を目的とする場合とする。
		B	1,650	
	カラー	A	440	
		B	2,200	
模写、模造			1,650	
熟覧			330	

様式第 1 号

福岡市美術館施設利用許可申請書

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地
団体名
代表者
(電話)

次のとおり福岡市美術館の施設を利用したいので、許可を申請します。
なお、利用に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。

利用する施設		会場責任者氏 名	(電話)
利用期間	展示室	年 月 日から 年 月 日まで	搬入 (時 分から 時 分まで)
		日間	展示 月 月 日から 月 月 日まで
	その他の施設	年 月 日(曜) 時 分から 時 分まで	搬出 (時 分から 時 分まで)
		時 分まで	
利用目的	催物の名称		
入 場 料	有料 (大人 円 学生 円 小人 円)	無料	入場者見込 延べ 人
館内での頒布物	有(有料・無料) 無		
共 催		後 援	
利用する付属設備	1 () 3 () 5 ()		
	2 () 4 () 6 ()		
使用料 (年度)	施設	付 属 設 備	計
	円	円	円

(注) 1 利用期間には、搬入、搬出の日も含まれます。
2 太枠線内のみ記入してください。

様式第 2 号

第 号

年 月 日

様

福岡市教育委員会教育長 国

年 月 日申請の福岡市美術館の施設の利用については、次のとおり許可します。

利用する施設					
利用期間	展示室	年 月 日から 年 月 日まで	日間		
	その他の施設	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分 まで			
利用目的					
催物の名称					
利用する付属設備	1 () 3 () 5 ()				
	2 () 4 () 6 ()				
留 意 事 項	1 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。				
	2 搬入及び搬出は、次の日時に行ってください。 搬入 年 月 日 時 分から 時 分まで 搬出 年 月 日 時 分から 時 分まで				

様式第2号の2

入 月 日 時 分
出 月 日 時 分

駐車券【兼料金票】
福岡市美術館専用駐車場

様式第3号

福岡市美術館施設利用取止め届

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地

団体名

代表者

Ⓜ

(電話)

次のとおり利用を取り止めますので、福岡市美術館条例施行規則第10条の規定によりお届けします。

許可年月日	年 月 日	許可番号	第 号
利用期間	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで		
利用の取止めをする施設又は付属設備			
既納使用料	使用料 円	付属設備使用料 円	
取止めの理由			

様式第4号

撮 影 等 許 可 申 請 書

年 月 日

(宛先)福岡市美術館長

申請者 住 所

氏 名

(電話)

次のとおり美術作品等の撮影等をしたいので、許可を申請します。

なお、撮影等に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。

撮影等の目的					
美術品等の名称	点	数	作	者	名
撮影等の日時					
方 法	撮 影 ・ 模 写 ・ 模 造 ・ 熟 覧				
備 考					
手数料	撮影	モノクローム	点	円	計
		カラー	点	円	
		模 写 ・ 模 造	点	円	
		熟 覧	点	円	
					円

(注) 太枠線内のみ記入してください。

様式第5号

第 号

撮 影 等 許 可 書

年 月 日

様

福岡市美術館長

図

年 月 日申請の美術作品等の撮影等を許可します。

撮影等の目的			
美術品等の名称	点	数	作 者 名
撮影等の日時			
方 法	撮 影 ・ 模 写 ・ 模 造 ・ 熟 覧		
留 意 事 項	1 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。 2 撮影等に当たっては、美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。		

様式第6号

福岡市美術館観覧料減免申請書

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地

団体名

代表者

Ⓜ

(電話)

福岡市美術館条例施行規則第21条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館観覧料の減免を申請します。

観 覧 目 的			
観 覧 日 時	年 月 日 (曜 日) 時 分から		
観 覧 者 数	小 学 生	学 年	人
	中 学 生	学 年	人
	そ の 他		人
	引 率 者		人

様式第7号

福岡市美術館使用料減免申請書

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地
団体名
代表者
(電話)

福岡市美術館条例施行規則第22条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館使用料の減免を申請します。

事業名	
主催者名 (共催者名)	
後援者名	
利用施設	
利用期間	年 月 日(曜日) 時 分から 年 月 日(曜日) 時 分まで
本後市援が共催場又は	※本市が負担する経費の額 円
	当該事業に要する経費の総額 円
摘要	

(注) ※印の欄は、経費を負担する市の担当課において記入を受けてください。

利用案内

開館時間

9：30～17：30（7～10月の金・土曜日は9：30～20：00）
※入館は閉館の30分前まで。

休館日

月曜日／年末年始
※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
※年末年始休館期間は12月28日～1月4日

観覧料

【コレクション展・企画展】
一般200円（150円）、高大生150円（100円）、中学生以下無料
ただし、以下の証明書等保持者は提示で観覧無料。
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳（以上は介護者1人を含む）／特定医療費（指定難病）受給者証／特定疾患医療受給者証／先天性血液凝固因子障害等医療受給者証／小児慢性特定疾病医療受給者証／福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方は住所と生年月日がわかるもの（健康保険証、運転免許証等）
※（ ）内は20名様以上の団体料金。
※交通系ICカード等利用可。
【特別展】
特別展によって金額が異なる。

交通案内

【福岡市地下鉄】
空港線 大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、
3・6番出口より徒歩10分
七隈線 六本松駅（科学館前）下車、
2番出口より徒歩10分
【西鉄バス】
系統番号13・140 福岡市美術館東口下車、徒歩3分
系統番号6・7・12・113・114・200～206・208
赤坂三丁目下車、徒歩5分
系統番号6-1 福岡城・NHK放送センター入口下車、
徒歩3分
【車】
福岡都市高速「西公園ランプ」から約5分
福岡都市高速「百道ランプ」から約10分
【福岡市美術館専用駐車場】
利用時間 午前9時～午後9時（開館日のみ）
使用料 普通車（26台）：1時間200円、
バス（5台）：1回2,000円／要事前予約



令和元年度

福岡市美術館活動の記録

編集・発行 **福岡市美術館**

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

TEL : 092-714-6051

印刷 株式会社西日本新聞印刷

発行年月日 2021年1月8日

©福岡市美術館 2020年